

「(仮称) これからの滋賀県立図書館のあり方」策定経過報告について

「(仮称) これからの県立図書館のあり方」の策定にあたり、アンケートや意見照会を行った結果を基に、県立図書館協議会において図書館の現状と課題について下記のとおりまとめました。

1 アンケートおよび意見聴取の実施

図書館利用の現状等を把握するため、県立および市町立図書館の利用状況や県立図書館に期待する役割等について関係機関から意見を聴取、県立図書館の利用者・非利用者および関係機関等にアンケートを実施、他府県の動向等を調査。

H28.6 月 県政モニターアンケート実施 回答数 349 人(回収率 88%) - 資料 1

H28.7 月 他府県の図書館の現状・国の動向・社会状況等把握 - 参考

※開館日・開館時間・貸出し冊数等基本データ収集

H28.8 月 教育委員会協議会 ※あり方策定について広く意見聴取

県立図書館利用者アンケート 回答数 532 人(回収率 83%) - 資料 2

市町立図書館来館者アンケート 回答数 686 人 - 資料 3

保育士、幼・小・中教諭からのアンケート 回答数 89 人 - 資料 4

H28.9 月 県内経済団体連合会との意見交換

※図書館との連携や期待する役割について意見交換

市町立図書館からの意見聴取

H28.10 月 庁内(生涯学習推進本部幹事課)および社会教育委員からの意見聴取

H28.11 月 学校図書館部会アンケート 回答数 90 人 - 資料 5

2 アンケート結果等からみた県立図書館の現況

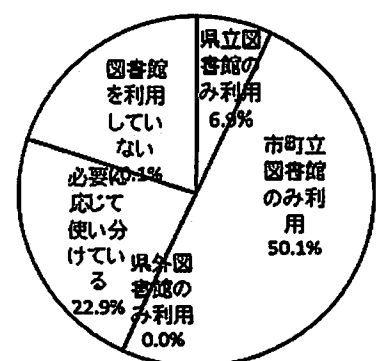
(1) 県立図書館の利用状況

県政モニターアンケートの結果、県立図書館のみの利用および市町立図書館と必要に応じて使い分けての利用合わせて、約 3 割が県立図書館利用しているが、約半数は市町立図書館のみを利用されている。(表-1)

なお、県立図書館利用者アンケートの結果、利用者の約 7 割が大津市在住である。(表-2)

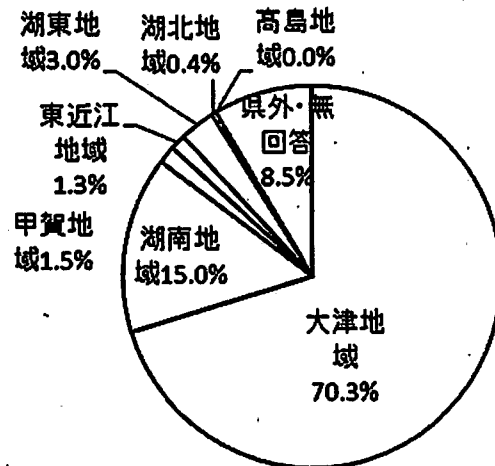
表-1 県立図書館の利用状況(県政モニターアンケート)

県立図書館のみ利用	24	6.9%
市町立図書館のみ利用	175	50.1%
県外図書館のみ利用	0	0.0%
必要に応じて使い分けている	80	22.9%
図書館を利用していない	70	20.1%
計	349	100.0%



表－２ 地域別利用者数 （県立図書館利用者アンケート）

大津地域	374	70.3%
湖南地域	80	15.0%
甲賀地域	8	1.5%
東近江地域	7	1.3%
湖東地域	16	3.0%
湖北地域	2	0.4%
高島地域	0	0.0%
県外・無回答	45	8.5%
計	532	100.0%



(２) 県立図書館と市町立図書館の利用状況

６市町の市町立図書館利用者アンケートの結果、約４分の１が県立図書館も利用している。(表－３)

また、県立図書館利用者アンケートの結果、約４割が市町立図書館を利用している。(表－４)

学校図書館部会アンケート結果では、県立図書館のみの利用および市町立図書館と必要に応じて使い分けての利用合わせて、約４分の１が県立図書館を利用している。(表－５)

表－３ 市町立図書館利用者の県立図書館の利用状況 (市町立図書館利用者アンケート)

	合計	県立も利用 (年に1回以上)	割合	県立も利用 (数年に1回)	割合	県立利用なし	割合	無回答	割合
高島市	52	3	5.8%	14	26.9%	35	67.3%		0.0%
草津市	70	32	45.7%	26	37.1%	12	17.1%		0.0%
長浜市	306	33	10.8%	57	18.6%	212	69.3%	4	1.3%
東近江市	135	46	34.1%	39	28.9%	48	35.6%	2	1.5%
日野町	17	8	47.1%	8	47.1%	1	5.9%		0.0%
野洲市	106	39	36.8%	25	23.6%	41	38.7%	1	0.9%
計	686	161	23.5%	169	24.6%	349	50.9%	7	1.0%

表－４ 県立図書館利用者の市町立図書館の利用状況 (県立図書館利用者アンケート)

	合計	市町立も利用	割合	市町立利用なし	割合	無回答	割合
大津地域	374	122	32.6%	250	66.8%	2	0.5%
湖南地域	80	56	70.0%	24	30.0%		0.0%
甲賀地域	8	8	100.0%		0.0%		0.0%
東近江地域	7	6	85.7%	1	14.3%		0.0%
湖東地域	16	9	56.3%	6	37.5%	1	6.3%
湖北地域	2	1	50.0%	1	50.0%		0.0%
高島地域	0		0.0%		0.0%		0.0%
県外・無回答	45	13	28.9%	10	22.2%	22	48.9%
計	532	215	40.4%	292	54.9%	25	4.7%

表－５ 学校図書館部会参加者の図書館利用状況（学校図書館部会参加者アンケート）

	合計	割合	小学校	割合	中学校	割合	高校	割合
県立図書館のみ利用	3	3.3%	1	2.7%	1	3.8%	1	3.7%
市町立図書館のみ利用	51	56.7%	24	64.9%	13	50.0%	14	51.9%
両方利用	19	21.1%	7	18.9%	3	11.5%	9	33.3%
利用していない	17	18.9%	5	13.5%	9	34.6%	3	11.1%
計	90	100.0%	37	100.0%	26	100.0%	27	100.0%

（３）県立図書館を利用しない理由

県立図書館を利用しない理由としては、市町立図書館利用者アンケートの結果でも、県政モニターアンケートの結果でも「地元の図書館を利用する」が最も多くなっている。次いで「交通の便が悪い」となっている。また、「県立図書館を知らない」とする回答もあった。（表－６）

一方、学校図書館部会アンケートでは、「開館日時が合わない」とする回答も多くあった。（表－７）

表－６ 県立図書館を利用しない理由

市町立図書館利用者アンケート			県政モニターアンケート		
地元の図書館を利用	244	69.9%	地元の図書館を利用	100	38.6%
必要な図書は自身で購入	4	1.1%	必要な図書は自身で購入	26	10.0%
交通の便が悪い	47	13.5%	交通の便が悪い	83	32.0%
開館日時が合わない	1	0.3%	開館日時が合わない	16	6.2%
県立図書館の存在を知らない	38	10.9%	県立図書館の存在を知らない	9	3.5%
その他	9	2.6%	その他	25	9.7%
無回答	6	1.7%	無回答	0	0.0%
計	349	100.0%	計	259	100.0%

表－７ 県立図書館を利用しない理由（学校図書館部会アンケート）

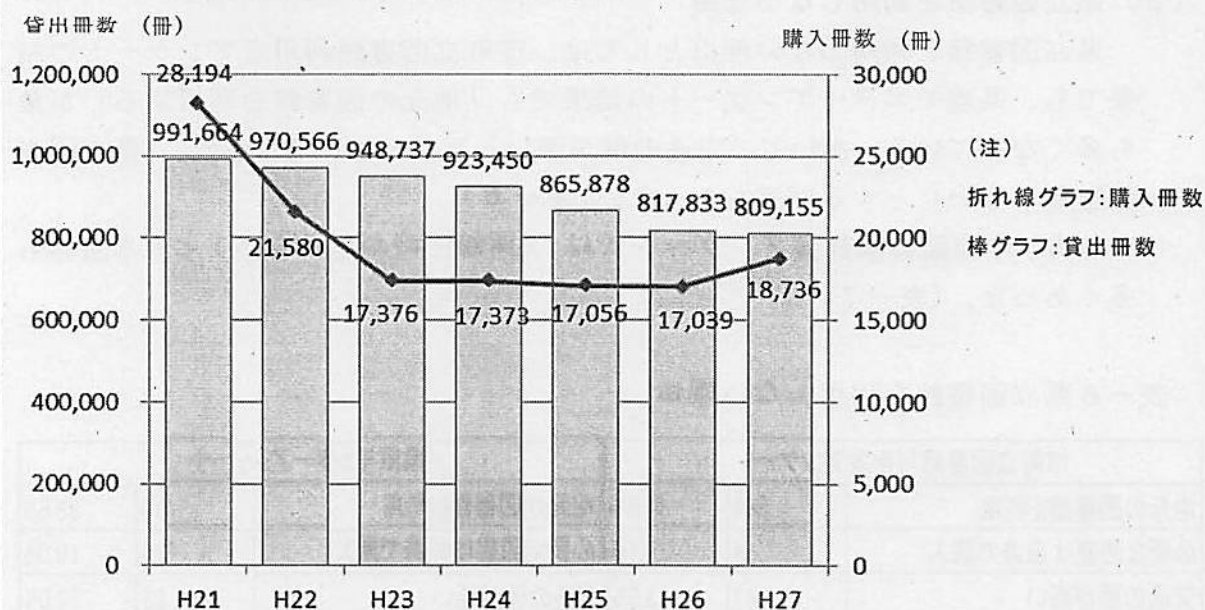
	小学校	割合	中学校	割合	高校	割合
地元の図書館を利用	11	37.9%	5	22.7%	9	52.9%
必要な図書は自身で購入	2	6.9%	5	22.7%	2	11.8%
交通の便が悪い	11	37.9%	4	18.2%	4	23.5%
開館日時が合わない	5	17.2%	7	31.8%	0	0.0%
県立図書館の存在を知らない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	1	4.5%	1	5.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%
計	29	100.0%	22	100.0%	17	100.0%

参考－１ 県立図書館の貸出し状況について

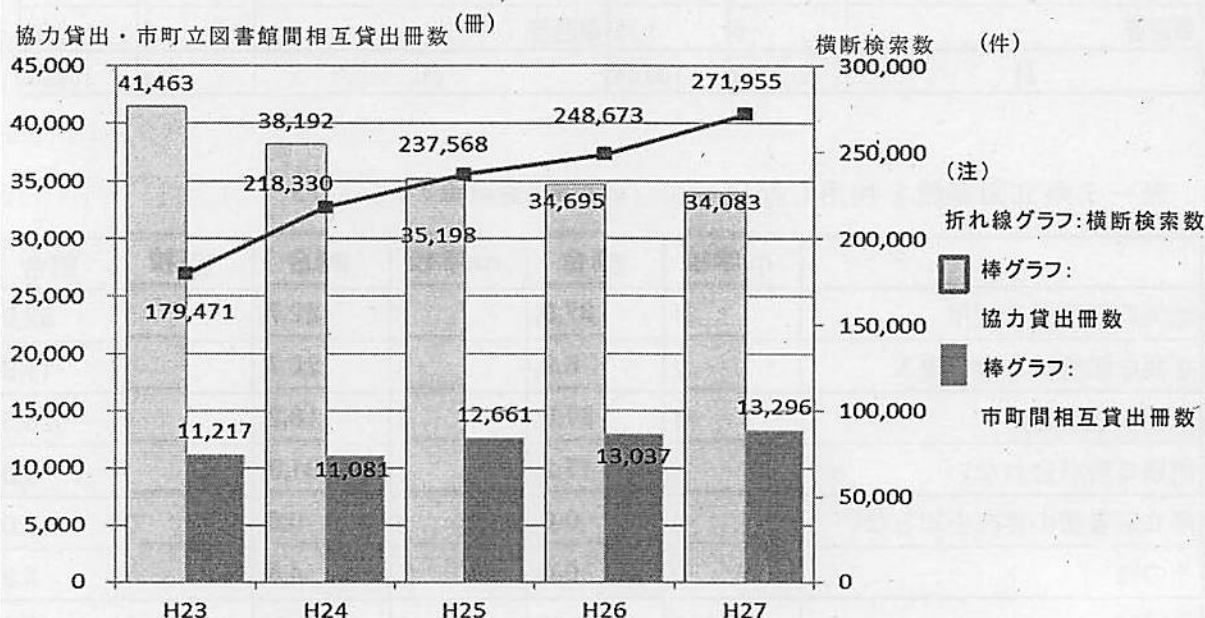
県立図書館の図書資料購入冊数については減少傾向にあり、それとともに図書資料の貸出し冊数も減少している。(図－１)

県立図書館および市町立図書館の資料を横断的に検索できるシステムの利用は増加しており、市町立図書館間の図書資料の相互貸借についても、県立図書館からのシステム提供により、増加傾向にある。一方、県立図書館の図書資料を市町立図書館に貸す「協力貸出」については減少している。(図－２)

図－１ 県立図書館の購入冊数と貸出冊数の推移



図－２ 横断検索件数と協力貸出冊数の推移



※H23より県立図書館提供の「市町立図書館間相互貸借システム」利用開始

(4) 県立図書館のサービスの認知度および利用状況

県立図書館では、直接来館者向けのサービス（貸出し、読書案内、調査・相談等）、市町立図書館への支援（協力貸出し等）、電子情報サービス（古文書、古地図のデジタル画像作成・公開、商用データベース提供等）、障害者サービス（郵送貸出し、大活字本の提供等）、集会行事（お話会、資料展示等）等を行っている。

しかし、アンケートの結果では、県立図書館利用者にもサービスが十分認知されておらず、市町立図書館利用者および県政モニターには更に認知されていない状況である。（表－８）

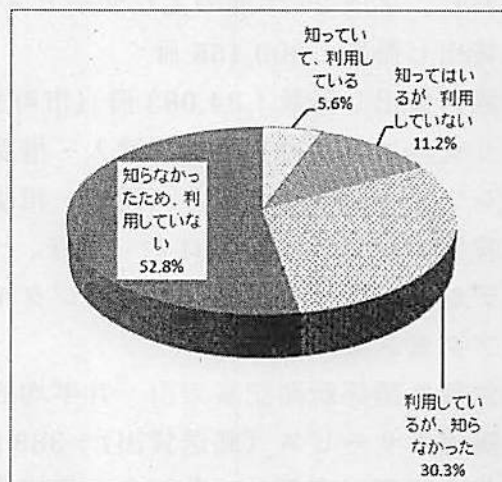
表－８ 県立図書館サービスの認知（知っている）状況

	県立利用者	市町立利用者	県政モニター	
				うち非利用者
図書資料の収集・整備	64.3%	41.5%	63.3%	65.7%
市町立図書館への支援	41.9%	46.4%	49.3%	21.4%
来館者サービス	57.9%	30.9%	43.3%	17.1%
電子情報サービス	34.0%	17.8%	22.9%	30.0%
障害者サービス	18.8%	13.3%	16.0%	8.6%
集会行事	57.0%	24.3%	35.5%	30.0%
全く知らない		34.7%		
無回答	16.2%			
※複数回答のため、合計が100%にならない				

また県立図書館では、子どもの読書を推進するため市販されている児童書を全点購入しているが、幼・保・小・中学校教員のアンケート結果では、「知らなかった」とする回答が約８割となっている。（表－９）

表－９ 児童書の全点購入の認知度（幼保・小・中学校教員アンケート）

知っていて、利用している	5	5.6
知ってはいるが、利用していない	10	11.2
利用しているが、知らなかった	27	30.3
知らなかったため、利用していない	47	52.8
合計	89	100.0



市町立図書館利用者アンケート結果では、非来館者向けサービス（県立図書館に直接来館せずに利用できるサービス）の利用がいずれのサービスも低い結果となった。（表－１０）

表－１０ 市町立図書館利用者の県立図書館非来館者向けサービス利用状況

	人数(人)	割合(%)
ホームページの「資料検索」	209	30.5%
協力貸出	221	32.2%
レファレンスサービス	16	2.3%
デジタル歴史街道	28	4.1%
滋賀県関係新聞記事見出し検索	35	5.1%
その他	20	2.9%
全く利用したことがない	343	50.0%
計	872	127.1%

（市町立図書館利用者アンケート）

※複数回答のため、合計が100%にならない

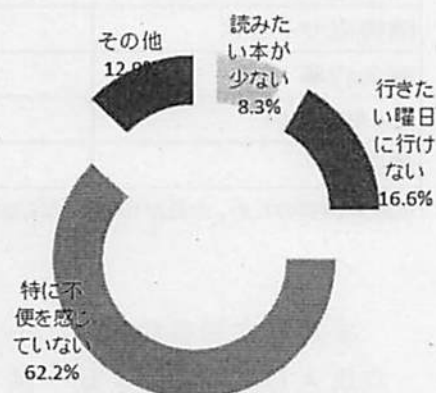
（５）県立図書館の経費削減による影響について

平成 20 年度の経費削減による資料費の削減をできる限り抑えるために、休館日を週 2 日に変更したことについて、県政モニターアンケートの結果では、「特に不便を感じていない」とする回答が最も多く、次いで「行きたい曜日に行けない」となっている。（表－１１）

表－１１ 経費削減による影響について

読みたい本が少ない	29	8.3%
行きたい曜日に行けない	58	16.6%
特に不便を感じていない	217	62.2%
その他	45	12.9%
計	349	100.0%

（県政モニターアンケート）



参考－２ 県立図書館の主なサービスの利用実績（H27年度）について

県立図書館では、直接来館者および非来館者に向けた様々なサービスをおこなっており、平成 27 年度の主なサービスの利用実績は下記のとおりである。

- 貸出し冊数：809,155 冊
- 協力貸出し冊数：34,083 冊（市町立図書館 1 館あたり 710 冊）
- リクエスト受付（予約・購入・借受・複写）：95,349 件
- レファレンスサービス（調査、相談）：7,738 件（口頭、FAX、メール等）
- 複写サービス：68,991 枚（電子、マイクロフィルム等）
- デジタルアーカイブ「近江デジタル歴史街道」（貴重資料のデジタル公表）：
アクセス数 19,173 件
- 滋賀県関係新聞記事索引：月平均約 850 件の記事を採録
- 障害者サービス（郵送貸出）：388 件、923 冊
- 集会行事（定例おはなし会、書庫探検、土曜サロン等）：のべ 24 回開催

(6) 県立図書館サービスの優先事項について

アンケートの結果、県立図書館利用者は、「県立図書館の図書資料の収集・整備」を優先事項とする回答が最も多く、市町立図書館利用者、県政モニター、学校図書館部会では、「市町立図書館への支援」を優先事項とする回答が最も多かった。(表-12)

表-12 県立図書館がこれから最も優先して進めていくべき事柄

	県立利用者	市町立利用者	県政モニター	学校図書館
図書資料の収集・整備	62.4%	30.8%	28.1%	28.9%
市町立図書館への支援	6.0%	39.8%	40.7%	44.4%
来館者サービス	12.6%	5.7%	10.9%	10.0%
電子情報サービス	3.9%	4.5%	8.9%	7.8%
障害者サービス	2.4%	1.5%	1.7%	0.0%
集会行事	3.8%	2.5%	6.9%	2.2%
その他	2.6%	3.1%	2.9%	2.2%
無回答	6.2%	12.1%		4.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

また、幼・保・小・中学校の教員に県立図書館に求める役割についてアンケートしたところ、「読み聞かせ等の研修等、人材育成」をする回答が最も多く、次いで「HPにおける児童書情報の発信」となった。(表-13)

表-13 子ども読書活動の推進のために教員が県立図書館に期待する役割
(幼・保・小・中学校教員アンケート)

児童書の全点収集	30	33.7%
児童書に関するレファレンスサービスの充実	30	33.7%
県立図書館HPにおける児童書情報の発信	46	51.7%
読み聞かせ等の研修等、人材育成	62	69.7%
県立図書館の蔵書の団体貸出し	39	43.8%
その他	6	6.7%
計	213	239.3%

※複数回答のため、合計が100%にならない

4 これまでにいただいた主な意見

県内経済団体からの主な意見

- 図書館の姿勢が受け身。もう一步踏み出すことが必要。
- 新鮮な情報を提供することに加え、図書館に相談すると次のステップがわかるなど、産業振興と図書館を結びつける活動をしてほしい。
- 各団体の会員や企業に情報がいきわたるよう図書館の活動の周知が必要。
- 県立図書館には従来とは違う役割があるとして、「あり方」を検討してほしい。
- やり方を工夫することで利用者を広げる必要がある。
- 電子データ情報を収集して発信していくことが重要。
- 産業育成の観点から、商工労働部局がいかに関わるかが大切。

社会教育委員からの主な意見

- 図書館は県民がチャレンジする時のアドバイザー的役割。
- 県民の多様な学習ニーズに対応した資料等を収集・整理・提供・保存する機関。
- 図書館は読書の場合、情報拠点、文化教育の拠点。
- 「読書」の楽しさを一層感じられる事業を実施し、読書人口増加の推進が必要。
- 居住地によって利用者の利便性に差が出ないような工夫が必要。
- 市町立図書館・学校図書館と連携し、利用しやすい身近な学びの場づくり。
- 地域資料の保存が必要。
- 滋賀県独自の特色や強みを打ち出してアピールする取組が必要。
- 利用拡大につながる情報発信の方法を開拓する。
- 県全体の情報アーカイブとしての役割を強化する。
- 企業的発想で新しいサービスを創出する。
- 専門家や第三者委員による事業評価、検証、改善、事業のプランニングが必要。
- 高齢者、多文化、多様な福祉・人権の視点にたったサービスの充実が必要。

市町立図書館からの主な意見

- 市町立図書館司書の研修等人材育成を支援してほしい。
- 協力貸出等、図書資料面での支援を拡大してほしい。
- インターネットを利用したデータベース活用等、新しい時代に対応した図書館サービス提供に向け、模索と具体的な施策展開が必要。
- 全ての県民の生涯にわたる学びを保障することが重要。

庁内からの主な意見

- 滋賀県および県政情報の県民への情報提供を期待したい。
- 「県の政策立案」を掲げ、資料検索等レファレンスサービスの充実が重要。
- 県の施策と連動した相談会や学習講座、イベントなどの開催を促進。
- 誰もが利用しやすい図書館であるとともに、県民との連携が必要。

5 第1回県立図書館協議会（H28.11.16開催）における意見

アンケート結果の分析や、各関係機関等からの意見、社会情勢変化等を基に県立図書館協議会において意見交換を行った。

【検討に当たって】

- 滋賀県は全国的にも有名な図書館県であり、他県の見本となるような「あり方」を検討したい。
- 「図書館県」として誇れるような「あり方」を考えたい。
- 県立図書館の基本である「資料収集」と「市町立図書館支援」の2つの柱を使った一本筋の通ったものを検討したい。

【司書とレファレンスサービス】

- 専門の司書の必要性を理解してもらうためには、レファレンスサービスを周知し、充実させ、図書館評価の項目として位置づけるべき。
- きちんと研修を受けた司書が配置されている図書館であることが大きな柱であり、司書の重要性・必要性をもっと県民に周知するとともに、レファレンスサービスをどうするのかの検討が必要。
- 蔵書になくても、所蔵している図書館を紹介できるなど、レファレンスサービスの充実を図るべき。
- 司書のレファレンスの専門性を生かすために、司書の研鑽を積む必要がある。

【市町立図書館支援】

- まずは、県立図書館と市町立図書館の役割分担を明確にすることが必要。
- 県立図書館は県民共有の財産であるため、利用者が偏ることなく、公平なアクセスについて考えることが議論の柱となるはず。そのために紙・電子媒体のハイブリット化の可能性についても議論する必要がある。
- 県立図書館による学校図書館支援についても「あり方」で検討したい。
- 幼少の頃から図書館教育を行い、図書館ユーザーを増やす必要がある。
- HPをより充実させ、協力貸出等の手続の簡素化を検討する必要がある。
- 資料整備だけでなく、仕組みも含めた支援のあり方を検討する必要がある。
- 市町立図書館利用者が県立図書館とのつながりを知る仕組みが必要。

【資料整備】

- 資料整備を第一に、資料をできるだけ集め提供することを死守してほしい。
- 電子媒体での資料の保管閲覧については、どの媒体を使うのが良いかは悩ましい。電子化の費用や著作権とのバランスが難しい。

【その他】

- 県立図書館の特色を出し、地域の課題解決に役立つ図書館のあり方について検討すべき。
- 文化ゾーン全体や琵琶湖博物館と交わる資料展示などを行ってはどうか。
- アンケート結果にあるようにPRが下手。県民に愛される図書館となるため、もっとアピールに力をいれてはどうか。
- 図書館の役割に「子どもの居場所」も盛り込みたい。

【参考】

図書館に関わる諸状況

(1) 県内市町立図書館の整備状況

19自治体 48館 (設置率 100%) ※全国の設置率 75.5%

(2) 全国的な図書館の資料費、貸出数の減少の傾向

	H18	H26
資料費	2,988,507 千円	2,756,194 千円
貸出数	672,599 千冊	622,037 千冊

(3) 全国の指定管理者制度等による専任職員の減少・非正規化

H27年度までに指定管理者制度を導入した県立図書館 4館 (6.8%)

※施設管理のみ含む

H27年度までに指定管理者制度を導入した市町立図書館 426館 (13.4%)

※指定管理者制度から直営に戻した図書館 12館有り。

→ 全国統計にみる専任職員の減少と非常勤職員の増加

	H18	H27
専任職員数	約 14,000 (うち司書約 7,000)	約 10,500 人 (＼ 約 5,500)
非常勤職員数	約 7,000 (うち司書約 4,500)	約 9,400 人 (＼ 約 6,300)

(4) 電子書籍について

①市場規模 H18 182 億円 (書籍販売総額 1 兆 1859 億円の約 1.5%)

→ H26 1,266 億円 (＼ 1 兆 862 億円の約 11.7%)

※電子雑誌 145 億円 (電子出版総額の約 11.5%)

②H26 の書籍販売額の内訳

紙書籍…67.6% 電子書籍…2.2% 紙マンガ 20.8% 電子マンガ 9.4%

(以上、個人向け販売実績) ※電子出版の約 82.9%がマンガと雑誌

③図書館向け電子書籍システムの現状

現状約 4 万タイトル (サービス提供者により差あり)

初期導入費用＋継続運用費が必要。契約期間のみ利用可能

(5) 都道府県立図書館の開館日および開館時間 (H28.10 月時点 臨時休館除く)

①休館日：週 1 日＋月 1 日 25 館 (53.2%) 週 1 日 8 館 (17.0%)

※最少は、月 1 日の 2 県、最多は週 2 日＋祝日の翌日 滋賀県

②開館時間：9 時－19 時 23 館 (48.9%) 9:30－19 時 8 館 (17.0%)

※最長は 9 時－21 時 1 県 最短は 10 時－18 時 滋賀県

(6) 国の動向 (H24.12 月 図書館の設置及び運営上の望ましい基準)

○地域の課題解決支援、地域活性化への貢献

○地域における子ども読書活動の推進

○知識基盤社会における地域の情報拠点

今後の図書館を取り巻く社会情勢の予測

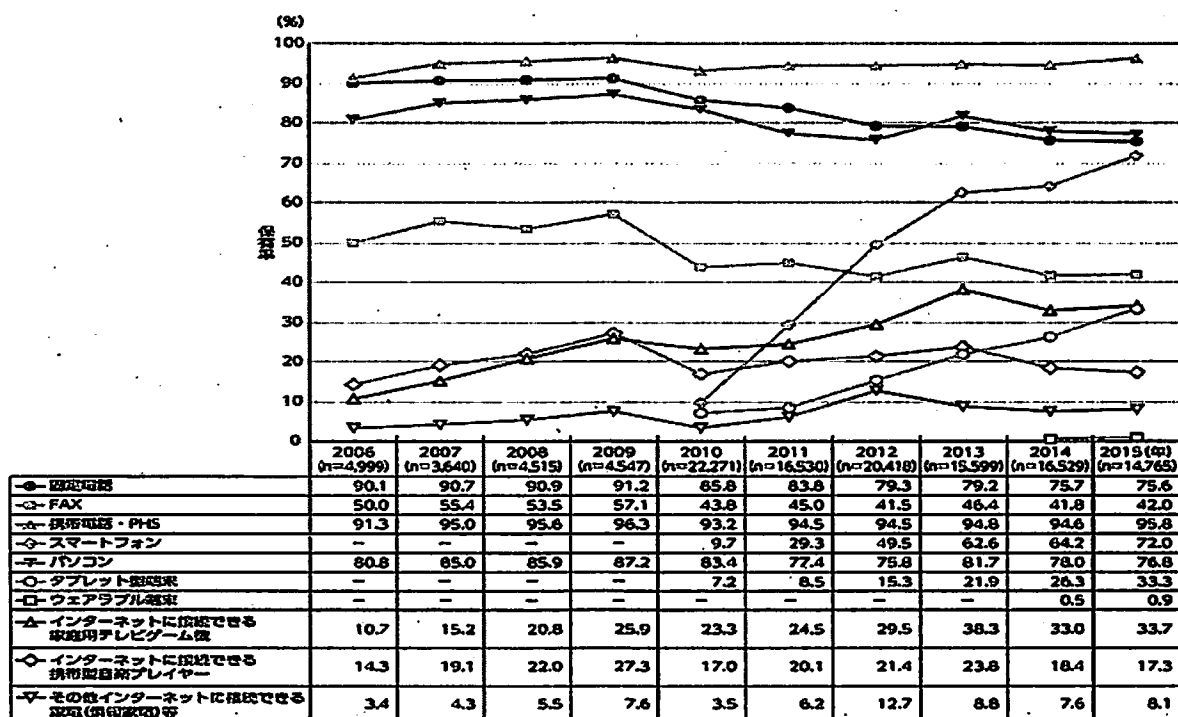
(1) 滋賀県における人口減少および高齢化の進行（毎月人口推計より）

			H27	H37
			(滋賀県人口戦略より)	
339千人 24.2%	65歳以上	385千人 27.5%	人口推計	1,402 千人
857千人 61.1%	15~64歳	836千人 59.8%	高齢者（65歳以上）	339 千人
206千人 14.7%	14歳以下	177千人 12.7%	生産年齢（15~64歳）	857 千人
			年少（14歳以下）	206 千人
				177 千人

(2) ICTの利用（総務省「通信利用動向調査」）

①インターネット利用者割合 70.8%（H17）→83.0%（H27）

②主な情報通信機器の保有状況



(3) 読書について（16歳以上の男女対象 文化庁「国語に関する世論調査より」）

①不読率 37.6%（H14）→46.1%（H20）→47.5%（H25）

②読書量（H25） 減っている 変わっていない 増えている

65.1%

26.3%

7.4%

※読書量が減った理由：「忙しくて時間がない」が51.3%、健康上の理由34.4%、情報機器で時間が取られる26.3%、テレビの方が魅力的21.8%となっている。

「滋賀県立図書館」についてのアンケート結果

滋賀県立図書館は昭和55年7月10日に新館が開館し、今年7月で36年が経過します。

これまで、県立図書館として県民が必要とする図書資料・情報の幅広い収集を基本とし、市町立図書館への支援を通じて県内全域に図書館サービスを提供してまいりました。あわせて、直接来館される県民のみなさまへの直接サービス、また県内図書館全体の資料保存センターとしての役割も充実してまいりました。

今後さらにこれらの活動を充実・強化していくため、現在の図書館業務やこれからの図書館の在り方などについてのご意見を伺い、今後の活動方針や事業展開に活かしていくことを目的として、アンケート調査を実施しました。

■ 調査時期 : 平成28年6月

■ 対象者 : 県政モニター 396人

■ 回答数 : 349人 (回収率 88%)

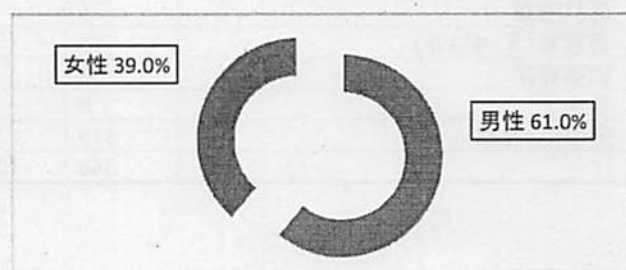
■ 担当課 : 教育委員会事務局生涯学習課(図書館)

※ 四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

【属性】

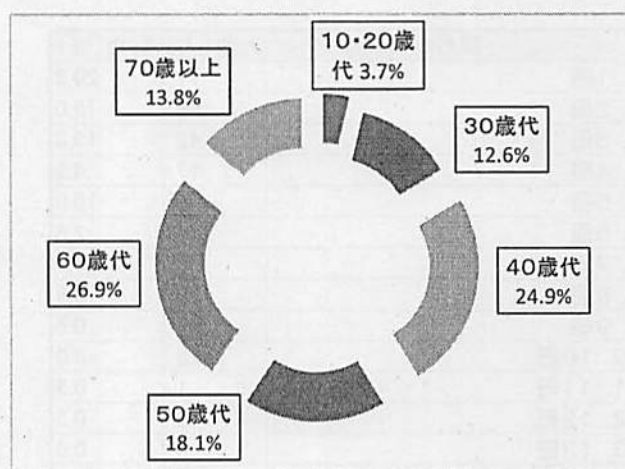
○ 性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	213	61.0
女性	136	39.0
合計	349	100.0



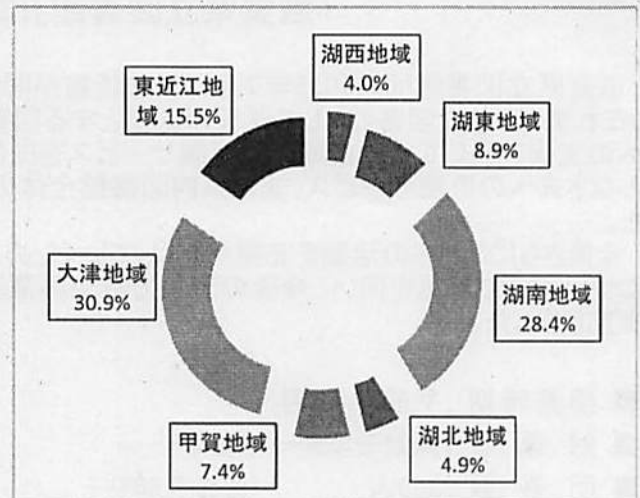
○ 年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	13	3.7
30歳代	44	12.6
40歳代	87	24.9
50歳代	63	18.1
60歳代	94	26.9
70歳以上	48	13.8
合計	349	100.0



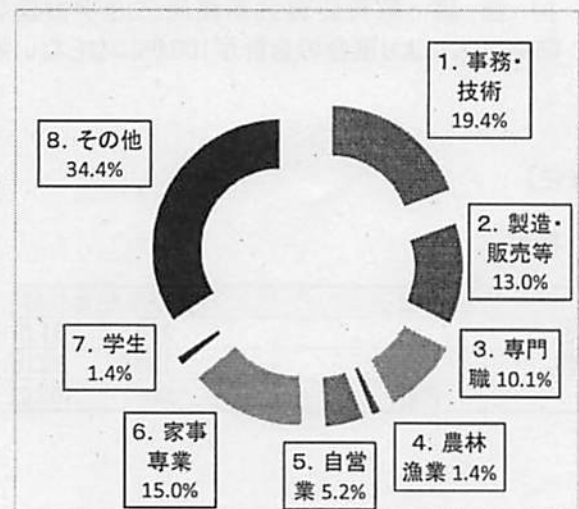
○ 地域

項目	人数(人)	割合(%)
湖西地域	14	4.0
湖東地域	31	8.9
湖南地域	99	28.4
湖北地域	17	4.9
甲賀地域	26	7.4
大津地域	108	30.9
東近江地域	54	15.5
合計	349	100.0



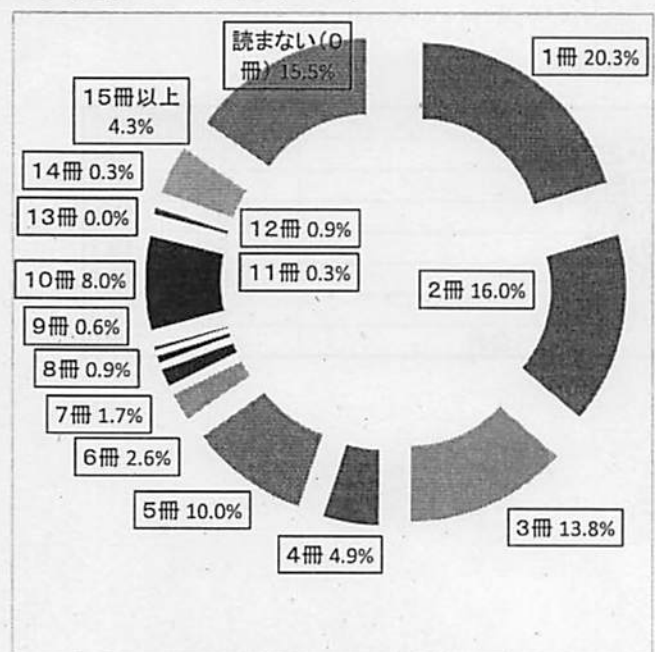
○ 職業

項目	人数(人)	割合(%)
1. 事務・技術関係(自営業者除く)	67	19.4
2. 製造・販売・サービス関係(自営業者除く)	45	13.0
3. 専門職など(専門職・自由業)	35	10.1
4. 農林漁業	5	1.4
5. 自営業(3、4以外)	18	5.2
6. 家事専業	52	15.0
7. 学生	5	1.4
8. その他・無職	119	34.4
合計	346	100.0



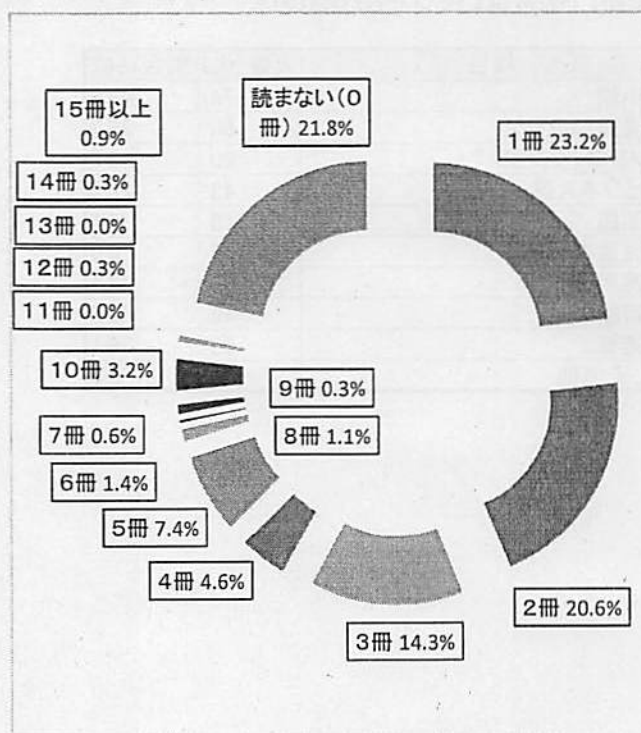
【問1】あなたは、図書を1カ月に平均で何冊ぐらい読みますか。(回答は1つだけ)(n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 1冊	71	20.3
2. 2冊	56	16.0
3. 3冊	48	13.8
4. 4冊	17	4.9
5. 5冊	35	10.0
6. 6冊	9	2.6
7. 7冊	6	1.7
8. 8冊	3	0.9
9. 9冊	2	0.6
10. 10冊	28	8.0
11. 11冊	1	0.3
12. 12冊	3	0.9
13. 13冊	0	0.0
14. 14冊	1	0.3
15. 15冊以上	15	4.3
16. 読まない(0冊)	54	15.5
合計	349	100.0



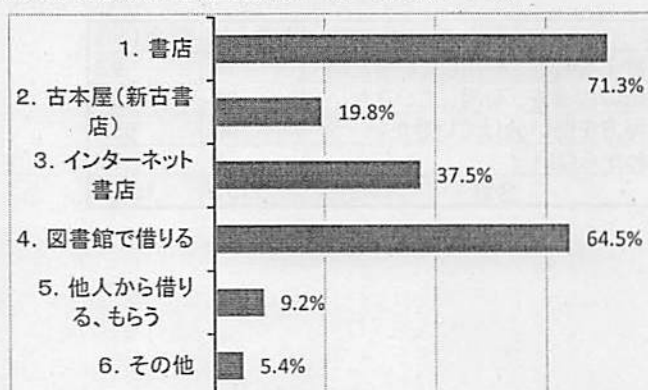
【問2】あなたは、雑誌を1カ月に平均で何冊ぐらい読みますか。(回答は1つだけ)(n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 1冊	81	23.2
2. 2冊	72	20.6
3. 3冊	50	14.3
4. 4冊	16	4.6
5. 5冊	26	7.4
6. 6冊	5	1.4
7. 7冊	2	0.6
8. 8冊	4	1.1
9. 9冊	1	0.3
10. 10冊	11	3.2
11. 11冊	0	0.0
12. 12冊	1	0.3
13. 13冊	0	0.0
14. 14冊	1	0.3
15. 15冊以上	3	0.9
16. 読まない(0冊)	76	21.8
合計	349	100.0



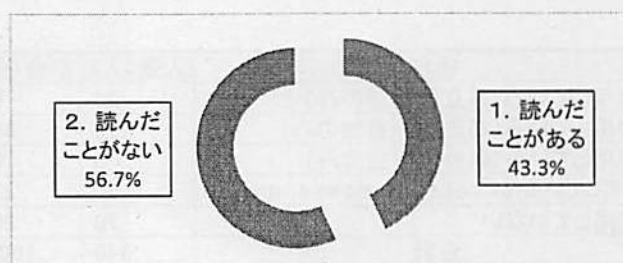
【問3】あなたは、本や雑誌をどこで(あるいはどんな方法で)入手しますか。(回答はいくつでも)(n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 書店	249	71.3
2. 古本屋(新古書店)	69	19.8
3. インターネット書店	131	37.5
4. 図書館で借りる	225	64.5
5. 他人から借りる、もらう	32	9.2
6. その他	19	5.4



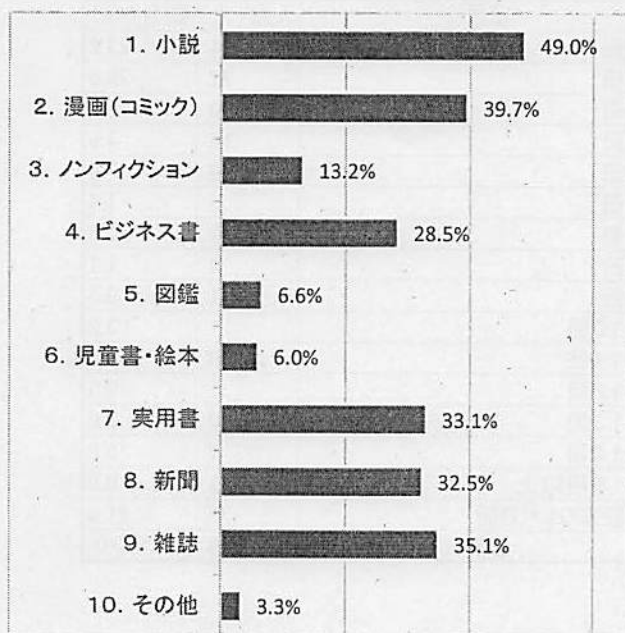
【問4】あなたは、スマートフォン、パソコン、タブレット端末などで、電子書籍を読んだことがありますか。(回答は1つだけ)(n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 読んだことがある	151	43.3
2. 読んだことがない	198	56.7
合計	349	100.0



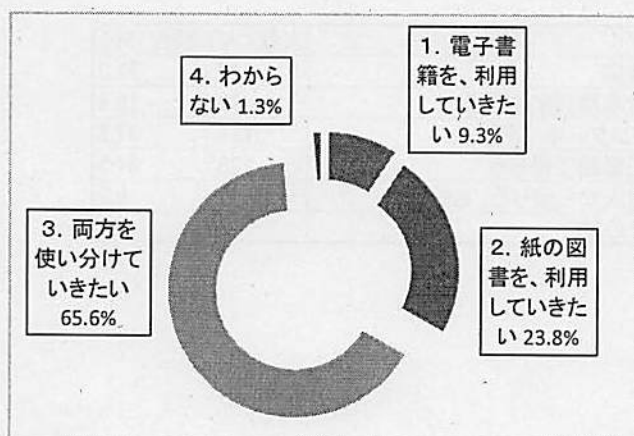
【問5-1】問4で電子書籍を「1. 読んだことがある」と答えた方にお尋ねします。どんな電子書籍を読んだことがありますか。(回答はいくつでも)(n=151)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 小説	74	49.0
2. 漫画(コミック)	60	39.7
3. ノンフィクション	20	13.2
4. ビジネス書	43	28.5
5. 図鑑	10	6.6
6. 児童書・絵本	9	6.0
7. 実用書	50	33.1
8. 新聞	49	32.5
9. 雑誌	53	35.1
10. その他	5	3.3



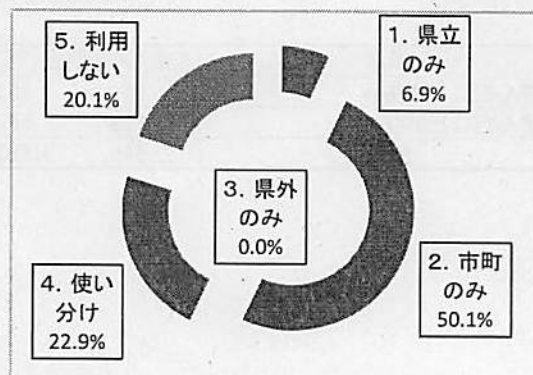
【問5-2】問4で電子書籍を「1. 読んだことがある」と答えた方にお尋ねします。今後、紙の図書と電子書籍をどう利用していきたいと思われますか。(回答は1つだけ)(n=151)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 電子書籍を、利用していきたい	14	9.3
2. 紙の図書を、利用していきたい	36	23.8
3. 両方を使い分けていきたい	99	65.6
4. わからない	2	1.3
合計	151	100.0



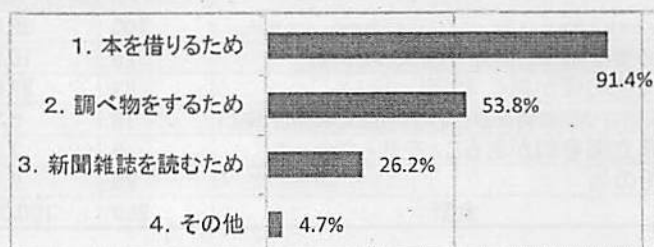
【問6】あなたは現在公共図書館を利用していますか。(回答は1つだけ)(n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 利用している(県立図書館のみ)	24	6.9
2. 利用している(市町立図書館のみ)	175	50.1
3. 利用している(県外図書館のみ)	0	0.0
4. 利用している(必要に応じて1~3の図書館を使い分けている)	80	22.9
5. 利用していない	70	20.1
合計	349	100.0



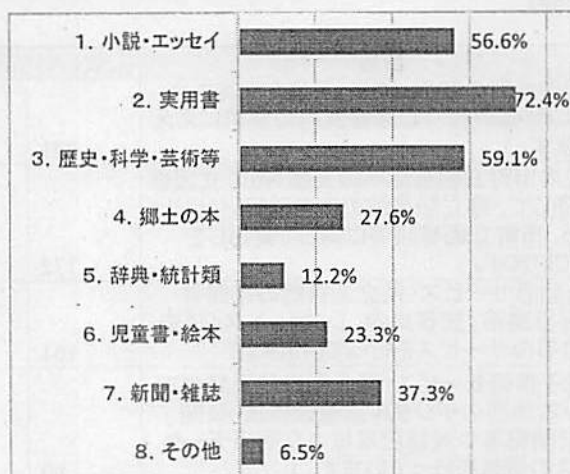
【問7-1】問6で「1. 利用している(県立図書館のみ)」「2. 利用している(市町立図書館のみ)」「3. 利用している(県外図書館のみ)」「4. 利用している(必要に応じて1~3の図書館を使い分けしている)」と答えた方にお尋ねします。あなたが図書館を利用する目的を教えてください。(回答はいくつでも)(n=279)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 本を借りるため	255	91.4
2. 調べ物をするため	150	53.8
3. 新聞雑誌を読むため	73	26.2
4. その他	13	4.7



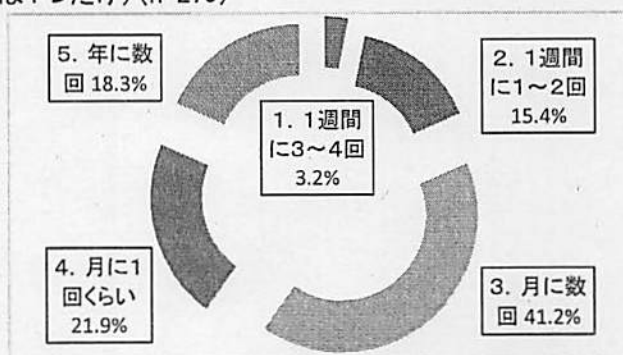
【問7-2】問6で「1. 利用している(県立図書館のみ)」「2. 利用している(市町立図書館のみ)」「3. 利用している(県外図書館のみ)」「4. 利用している(必要に応じて1~3の図書館を使い分けしている)」と答えた方にお尋ねします。あなたが図書館で利用する本等の種類を教えてください。(回答はいくつでも)(n=279)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 小説・エッセイ	158	56.6
2. 実用書	202	72.4
3. 歴史・科学・芸術等、特定の分野に関する本	165	59.1
4. 郷土の本	77	27.6
5. 辞典・統計類	34	12.2
6. 児童書・絵本	65	23.3
7. 新聞・雑誌	104	37.3
8. その他	18	6.5



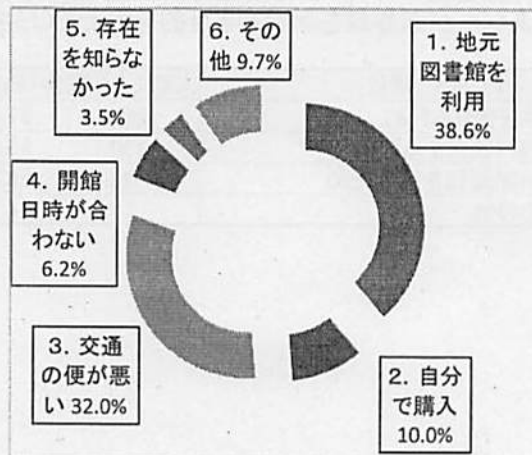
【問7-3】問6で「1. 利用している(県立図書館のみ)」「2. 利用している(市町立図書館のみ)」「3. 利用している(県外図書館のみ)」「4. 利用している(必要に応じて1~3の図書館を使い分けしている)」と答えた方にお尋ねします。あなたは図書館をどの程度利用されていますか。(回答は1つだけ)(n=279)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 1週間に3~4回	9	3.2
2. 1週間に1~2回	43	15.4
3. 月に数回	115	41.2
4. 月に1回くらい	61	21.9
5. 年に数回	51	18.3
合計	279	100.0



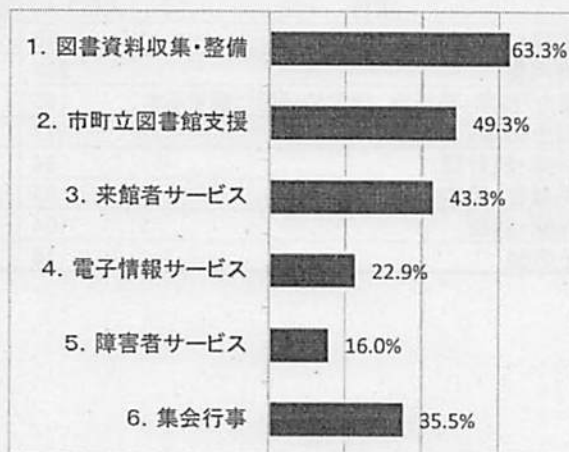
【問8】「現在、県立図書館を利用していない」方にお尋ねします。現在、県立図書館を利用していないのはどのような理由からですか。(回答は1つだけ)(n=259)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 地元の市町立図書館を利用しているため、県立図書館へ行く必要がない	100	38.6
2. 必要な本は、自分で購入している	26	10.0
3. 交通の便が悪く、利用しづらい	83	32.0
4. 開館日や開館時間が合わないため、利用しづらい	16	6.2
5. 県立図書館があることを知らなかった	9	3.5
6. その他	25	9.7
合計	259	100.0



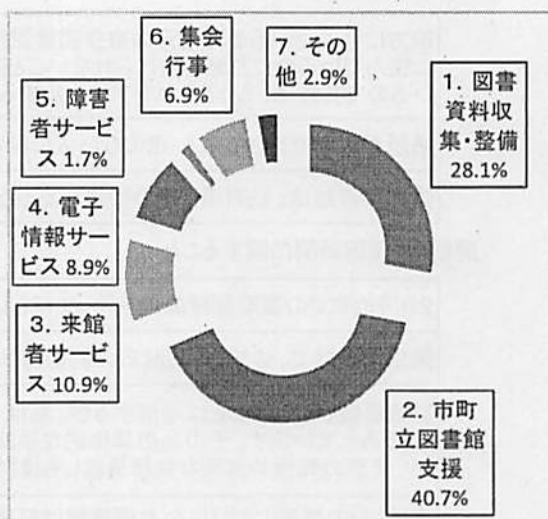
【問9】県立図書館がおこなっている事業の中で、あなたがご存じのものを教えてください。(回答はいくつでも)(n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 図書資料の収集・整備(蔵書を充実させ、県民の皆様の様々な図書資料の要求に応えています。)	221	63.3
2. 県内市町立図書館への支援(市町立図書館を通じて、県立図書館の本を利用いただけるよう、市町立図書館等に対して貸出しを行っています。)	172	49.3
3. 来館者サービス(県立図書館の来館者に、貸出業務、読書案内、レファレンス(調査相談)等のサービスを行っています。)	151	43.3
4. 電子情報サービス(県立図書館所蔵の古文書・古地図のデジタル画像の作成・公開や、新聞記事や雑誌記事様々な商用データベースの提供を行っています。)	80	22.9
5. 障害者に対するサービス(来館が困難な方への郵送貸出を行っています。また、通常の本での読書が困難な方に対しては、専用の機器を揃え、大活字の本や録音された本等の提供を行っています。)	56	16.0
6. 集会行事(お話し会や資料展示やライブラリーコンサート等をおこなっています。)	124	35.5



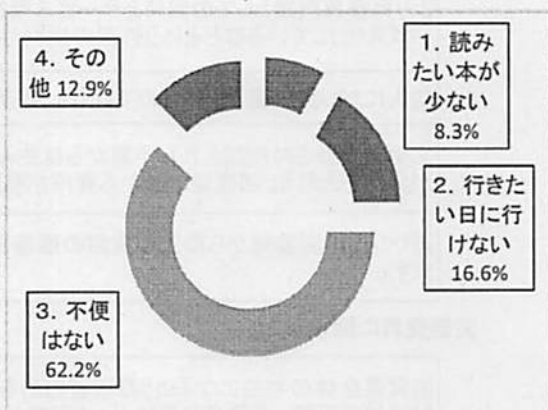
【問10】県立図書館がおこなっている事業の中で、これから最も優先して進めていくべき事柄は何だと思いますか。
(回答は1つだけ)(n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 図書資料の充実	98	28.1
2. 県内市町立図書館への支援の充実(直接来館できない県民に向けたサービスの充実)	142	40.7
3. 来館者サービスの充実(開館日の増加等)	38	10.9
4. 電子情報サービスの充実	31	8.9
5. 障害者に対するサービスの充実	6	1.7
6. お話会や資料展示やライブラリーコンサート等、集会行事の充実	24	6.9
7. その他	10	2.9
合計	349	100.0



【問11】平成20年度、県立図書館は、厳しい県の財政事情により、経費削減を行いました。その際、図書購入費の削減をできる限り抑えるために、管理業務および人員の削減を行いました。その結果として、休館日を週2日に変更し、運営しています。こうした現状について、あなたの御意見をお聞かせください。(回答は1つだけ)(n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 読みたい本が少なくなって不便を感じている	29	8.3
2. 行きたい曜日に行けなくなって不便を感じている	58	16.6
3. 特に不便は感じていない	217	62.2
4. その他	45	12.9
合計	349	100.0



【問12】県立図書館について御意見・御要望などがありましたら、自由にご記入ください。(抜粋)

立地に関すること

遠方に住んでいるので地元の市立図書館を利用し、県立図書館の利用の機会はありません。同じ滋賀県に住んでいるのに恩恵を受けられないことはとても残念に思います。地元の図書館に何かしらの支援をしているのであれば、もっとそれをアピールすることが必要ではないかと思ひます。

場所が不便で行きにくい。車のない人には特に行きにくい。

県立図書館は、駐車場からの距離があるため、家族四人分の本を持って移動するのは大変。

開館日・開館時間に関すること

20時位までの夜間開館の日を作してほしい。

県立図書館で、休館日が週2日の図書館は他にはない。早急に週1日に戻してほしい。

財政事情が苦しいことは理解するが、私は「図書館は基本的には1年間いつでも利用できるのが基本である」と考えています。その為の具体的な手法について、今特に「案」を持ち合わせているわけではありませんが、発想の転換や大胆な業務見直しも検討のひとつではないかと思ひます。

本は「心の栄養」であり、公共図書館は経済的や地理的に本の購読が困難な者にとって最後の砦である。住民の心の満足度を充実させるためにも予算、人員を増やし、蔵書、開館日を増やして機能強化を図るべきと考える。

図書館サービスに関すること

図書館のレファレンスサービスは、うまく利用すれば非常に便利であるが、そのようなサービスの提供を知らない利用者が多数ではないか。電話やメールで問い合わせを行い、貸し出し予約ができると便利だと思う。(もうしているのかも知れないが、私は知らない。)

より司書専門職としての矜持とサービス精神をもって図書館運営を続けて下さい。また公立図書館が「ガラパゴス化」しているなどという外部の批判や評価に対し、より明確な実績と存在力を示してください。

個人に対し貸出業務を行うのではなく、市町村支援に徹すべきと思ひます。

文化の豊かさは削減された予算からは生み出されにくいのだと思う。利用しやすい図書館業務をすることが大切だと思う。図書館にかかる費用を削減することは良くないと思う。

近くの市の図書館から県立図書館の蔵書を取り寄せてもらうなど、便利に利用させて貰っており感謝しています。

図書資料に関すること

滋賀県全体の利益になるような収書方針を立てて欲しい。滋賀県の貴重な郷土資料や先人の著作など、学術的に価値、有意義な県にとって有益な書物を優先的に集めてほしい。

利用したい本の種類も思ったほど充実していない、等から県立という名前と外観だけであって、内容は大変貧相極まりなく、他県の図書館に比べて相当見劣りすると思われる。退職後は交通も不便である事などから、利用する機会はほとんどなくなり、今後も利用したいとは思わなくなって大変残念である。

市の図書館にない本でも県立の図書館から取り寄せてもらったりするので、本の充実をお願いします。

自宅から近いこともあって、頻繁に利用させていただいています。

インターネットから横断検索できるのがとても便利で、蔵書に関してはほかの図書館に無い書籍が多数あり嬉しいですね。

専門書もたくさんあるし、蔵書の充実のためであれば休館日が多少増えてもよいかと思ひています。

・市町村にない図書を購入してほしい。一般図書は市町に任す。(市町図書館と役割を分担する)

・県立図書館の独自色をだしてほしい。(例 環境分野は日本一等)

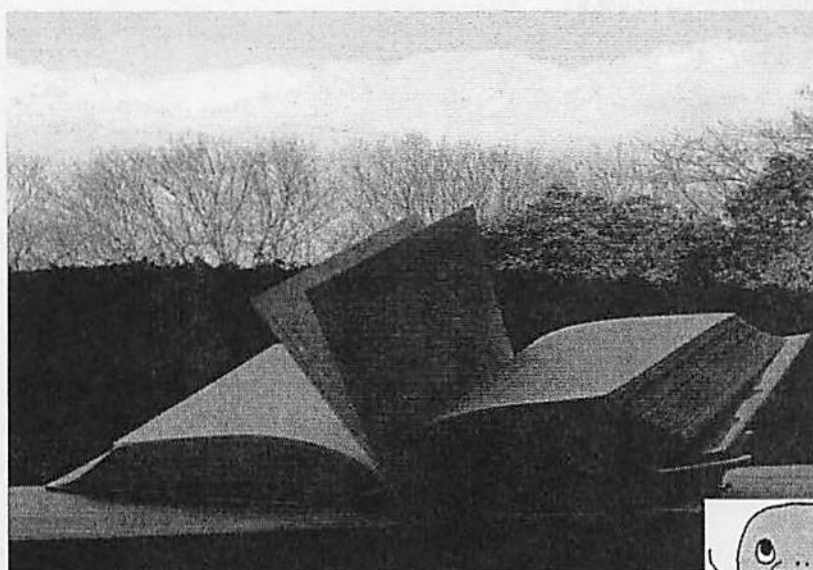
施設等に関すること

トイレなども改修が必要なのに放置されている。ソファも古い。

県立図書館のサイトの、アクセスのページをもっと分かりやすくしてほしいです。

具体的には、駐車場や駐輪場の有無や位置などを写真で紹介していると初めて来られる方にも分かりやすいかと思ひます。

平成28年度利用者アンケート結果報告



1 はじめに

平成28年(2016年)8月6日(土)に来館された中学生以上の利用者に、当館利用についてアンケートをお願いしました。その結果について報告します。

2 配布数等

配布数	642		
回収数	540	回収／配布	84%
有効回答数	532	回答／回収	99%
自由記入欄入力数	46	記入／回答	9%

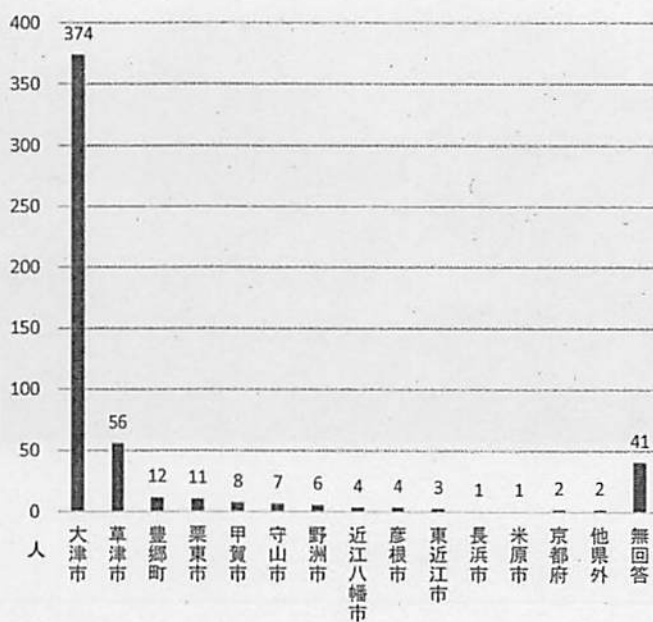
3 結果報告

3.1 住まい

隣接地域の大津・草津市にお住いの利用が多くなっています。

県外からの利用も、毎年一定数あります。

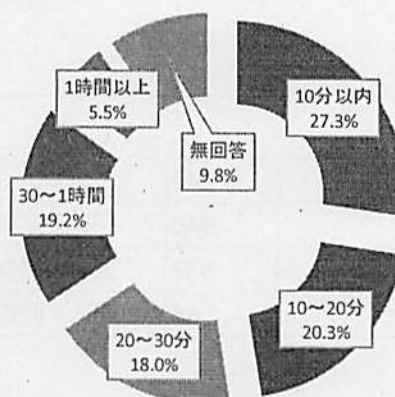
	人数	%
大津市	374	70.3%
草津市	56	10.5%
豊郷町	12	2.3%
栗東市	11	2.1%
甲賀市	8	1.5%
守山市	7	1.3%
野洲市	6	1.1%
近江八幡市	4	0.8%
彦根市	4	0.8%
東近江市	3	0.6%
長浜市	1	0.2%
米原市	1	0.2%
京都府	2	0.4%
他県外	2	0.4%
無回答	41	7.7%
総計	532	100.0%



3.2 図書館までの所要時間(片道)

3.1来館利用は、所要時間30分以内の方が6割以上となっています。

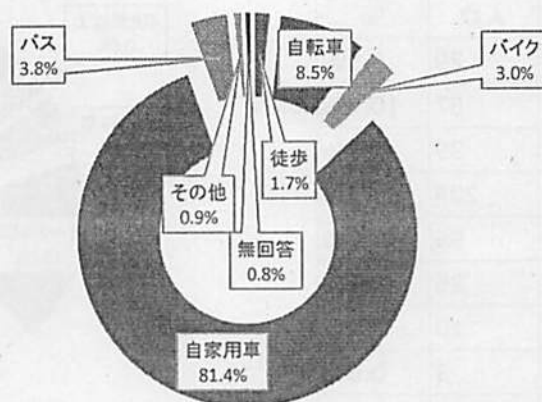
所要時間	人数	%
10分以内	145	27.3%
10～20分	108	20.3%
20～30分	96	18.0%
30～1時間	102	19.2%
1時間以上	29	5.5%
無回答	52	9.8%
総計	532	100.0%



3.3 来館手段

約8割の方が、自家用車で来館されています。

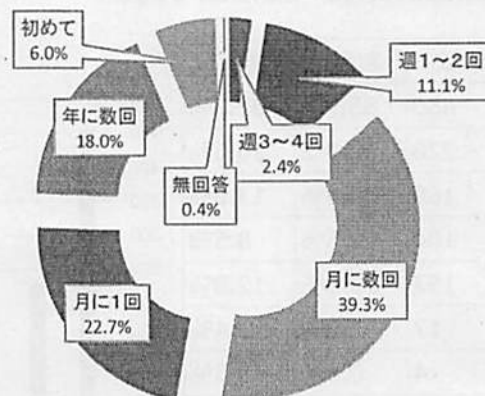
	人数	%
徒歩	9	1.7%
自転車	45	8.5%
バイク	16	3.0%
自家用車	433	81.4%
バス	20	3.8%
その他	5	0.9%
無回答	4	0.8%
総計	532	100.0%



3.4 来館頻度

半数以上の方が、月に数回以上来館されています。

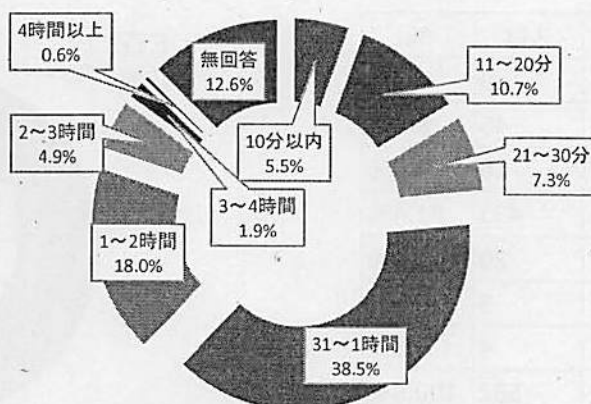
	人数	%
週3～4回	13	2.4%
週1～2回	59	11.1%
月に数回	209	39.3%
月に1回	121	22.7%
年に数回	96	18.0%
初めて	32	6.0%
無回答	2	0.4%
総計	532	100.0%



3.5 滞在時間

約6割の方が、1時間以内の滞在と回答されています。

	人数	%
10分以内	29	5.5%
11～20分	57	10.7%
21～30分	39	7.3%
31～1時間	205	38.5%
1～2時間	96	18.0%
2～3時間	26	4.9%
3～4時間	10	1.9%
4時間以上	3	0.6%
無回答	67	12.6%
総計	532	100.0%



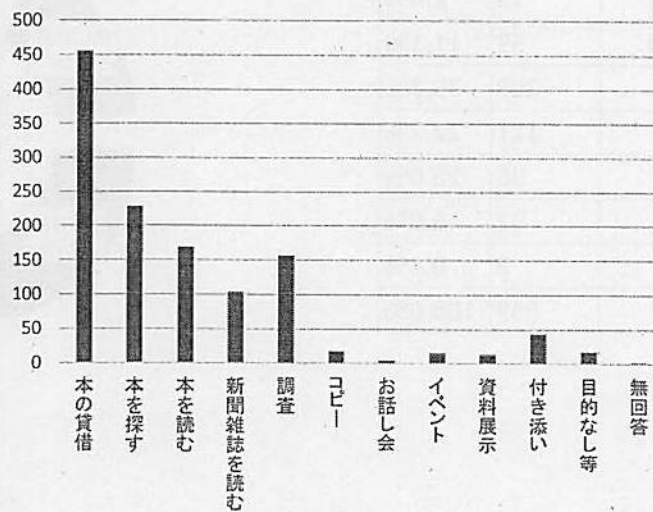
3.6 来館目的 (※ 複数回答)

本の貸借の方が4割近くを占めています。

調査や本を探す為に来館された方も一定割合おいでです。

※複数回答5つまで	人数	割合1	割合2
本の貸借	456	85.7%	37.2%
本を探す	228	42.9%	18.6%
本を読む	169	31.8%	13.8%
新聞雑誌を読む	104	19.5%	8.5%
調査 (本・net・DB)	157	29.5%	12.8%
コピー	17	3.2%	1.4%
お話し会	4	0.8%	0.3%
イベント	15	2.8%	1.2%
資料展示	13	2.4%	1.1%
付き添い	43	8.1%	3.5%
目的なし・その他	17	3.2%	1.4%
無回答	2	0.4%	0.2%
総計	1225	230.3%	100.0%

/532 /1225



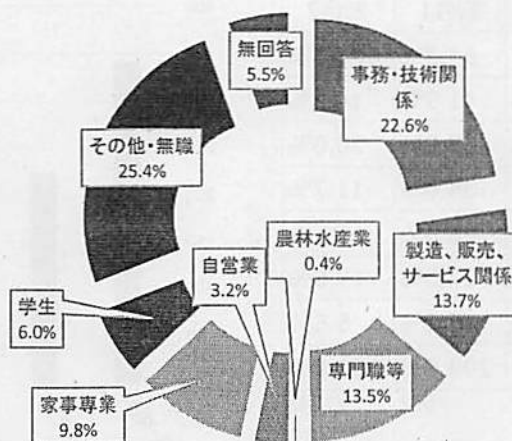
※割合1は、アンケート回答者の実人数を分母にした割合

※割合2は、アンケート回答の延べ人数を分母にした割合

3.7 職業

「事務・技術関係」と「その他・無職の方」の利用が大きなウェイトを占めています。

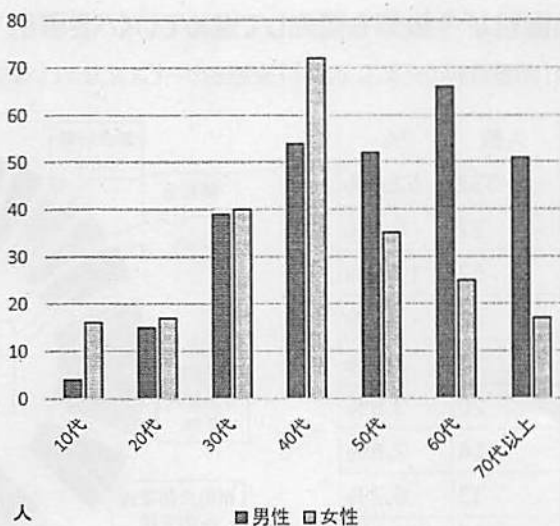
職業	人数	%
事務・技術関係	120	22.6%
製造、販売、サービス関係	73	13.7%
専門職等	72	13.5%
農林水産業	2	0.4%
自営業	17	3.2%
家事専業	52	9.8%
学生	32	6.0%
その他・無職	135	25.4%
無回答	29	5.5%
総計	532	100.0%



3.8 年齢・性別

60歳代の男性と40歳代の女性に2つの山のピークがあります。

	男性	女性	無回答
10代	4	16	0
20代	15	17	0
30代	39	40	1
40代	54	72	0
50代	52	35	0
60代	66	25	0
70代以上	51	17	0
無回答	1	1	26
総計	282	223	27



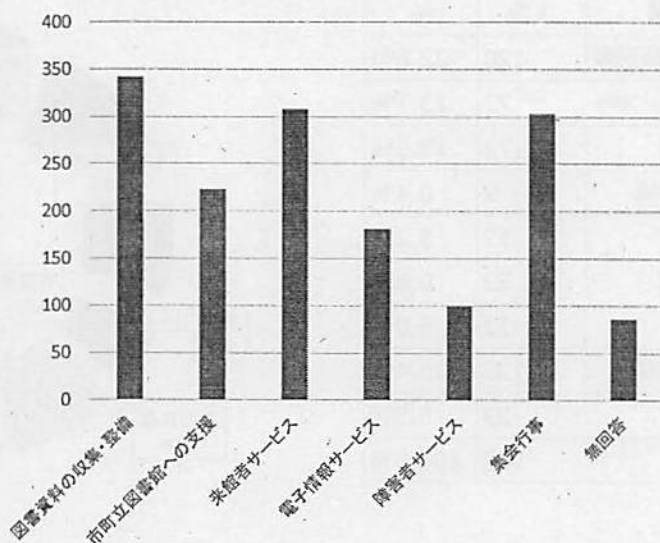
3.9 県立図書館が実施している事業の認知度（※ 複数回答）

「図書資料の収集・整備」、「来館者サービス」、「集会行事」などの認知度が高くなっています。

職業	人数	割合1	割合2
図書資料の収集・整備	342	64.3%	22.2%
市町立図書館への支援	223	41.9%	14.5%
来館者サービス	308	57.9%	20.0%
電子情報サービス	181	34.0%	11.7%
障害者サービス	100	18.8%	6.5%
集会行事	303	57.0%	19.6%
無回答	86	16.2%	5.6%
総計	1543	290.0%	100.0%

/532 /1543

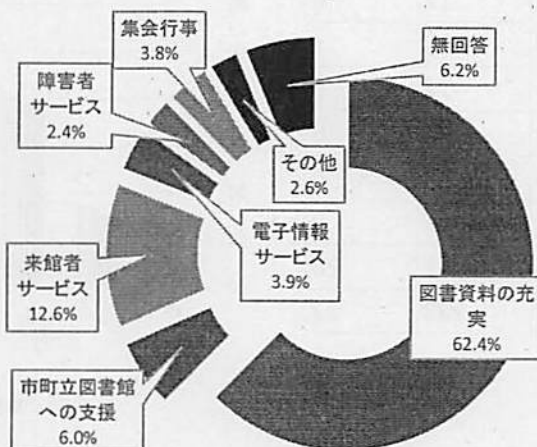
※割合1は、アンケート回答者の実人数を分母にした割合
※割合2は、アンケート回答の延べ人数を分母にした割合



3.10 県立図書館が今後最も優先して進めていくべき事柄

一番多い事柄は「図書資料の充実」、次いで「来館者サービス」となっています。

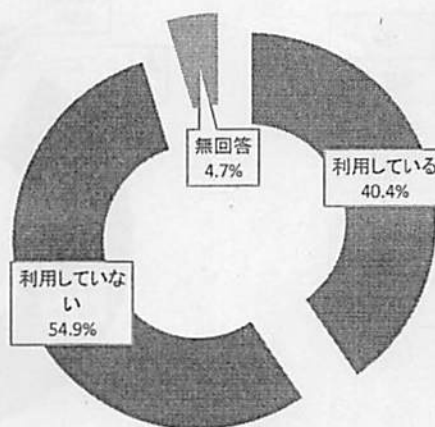
職業	人数	%
図書資料の充実	332	62.4%
市町立図書館への支援	32	6.0%
来館者サービス	67	12.6%
電子情報サービス	21	3.9%
障害者サービス	13	2.4%
集会行事	20	3.8%
その他	14	2.6%
無回答	33	6.2%
総計	532	100.0%



3.11 市町立図書館の利用状況

市町立図書館と県立図書館を併用している方が約4割ほどいらっしゃいます。

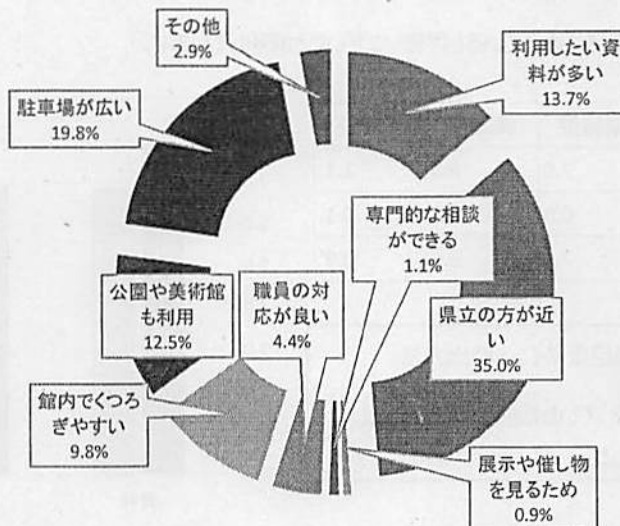
職業	人数	%
利用している	215	40.4%
利用していない	292	54.9%
無回答	25	4.7%
総計	532	100.0%



3.11-2 県立図書館のみを利用する理由 (※ 複数回答)

一番多い理由は距離で、次いで駐車場の広さとなっています。

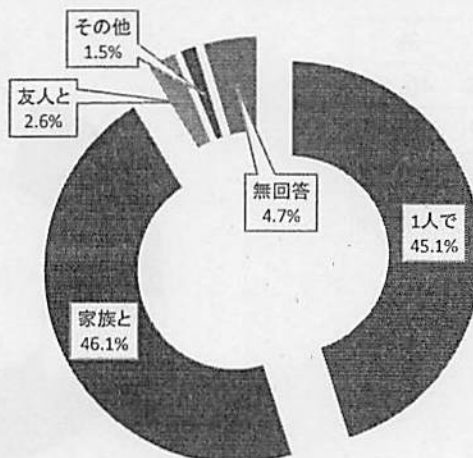
職業	人数	%
利用したい資料が多い	91	13.7%
県立の方が近い	233	35.0%
展示や催し物を見るため	6	0.9%
専門的な相談ができる	7	1.1%
職員の対応が良い	29	4.4%
館内でくつろぎやすい	65	9.8%
公園や美術館も利用	83	12.5%
駐車場が広い	132	19.8%
その他	19	2.9%
総計	665	100.0%



3.12 誰と一緒に来館されたか

ご家族との来館が約半数です。また、過去に一度同伴者を尋ねた平成15年度(2003年度)の調査では、家族での来館が約6割でした。

	人数	%
1人で	240	45.1%
家族と	245	46.1%
友人と	14	2.6%
その他	8	1.5%
無回答	25	4.7%
総計	532	100.0%

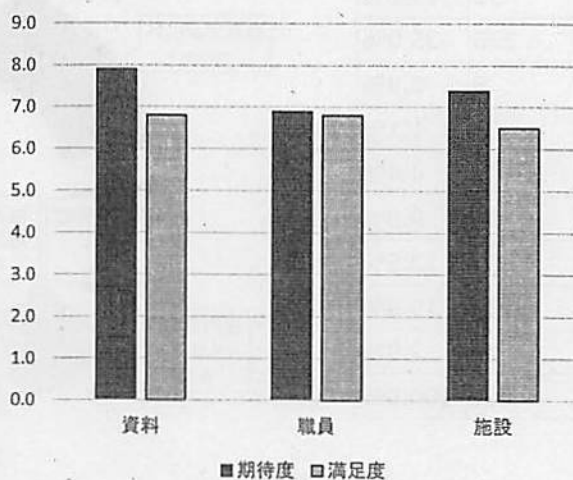


3.13 期待度・満足度

期待度と満足度の落差が最も大きいのが「資料」となっています。

「職員」は、ほぼご期待に添えていると評価いただいたと解釈しています。

	期待度	満足度	差
資料	7.9	6.8	1.1
職員	6.9	6.8	0.1
施設	7.4	6.5	0.9



期待度・満足度ポイント算出方法

共に10段階評価していただき、それを点数として合計し、平均を出した。

市町立図書館利用者「滋賀県立図書館」についてのアンケート結果

■ 調査時期：平成28年7月20日(水)～8月14日(日)

■ 調査目的：県立図書館の活動を充実・強化していくため、現在行っている業務やこれからの図書館の在り方などについてご意見を伺う

■ 対象者：市町立図書館利用者

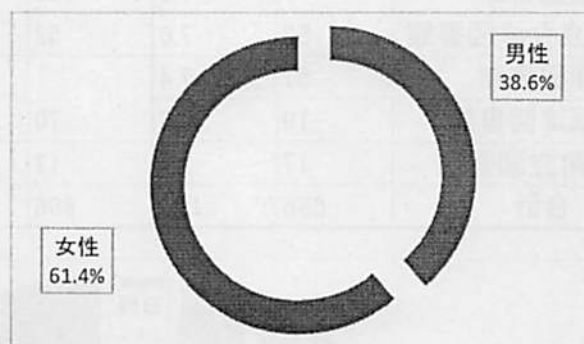
■ 回答数：686人

※ 集計の方法により割合の合計が100.0%を超える場合があります。

【問1】属性

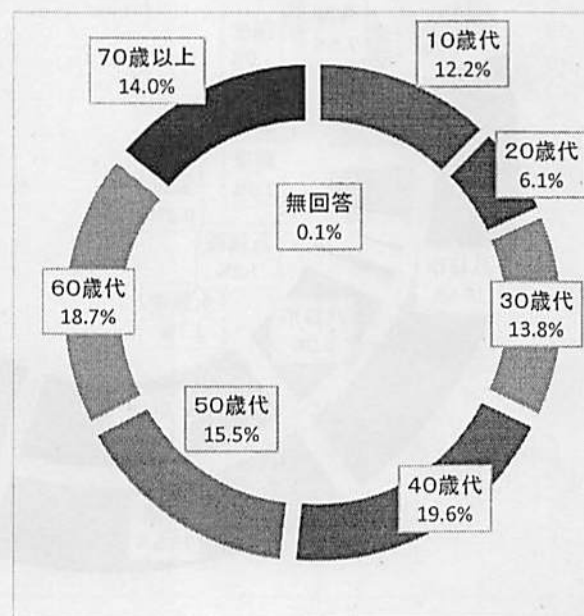
○ 性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	265	38.6
女性	421	61.4
合計	686	100.0



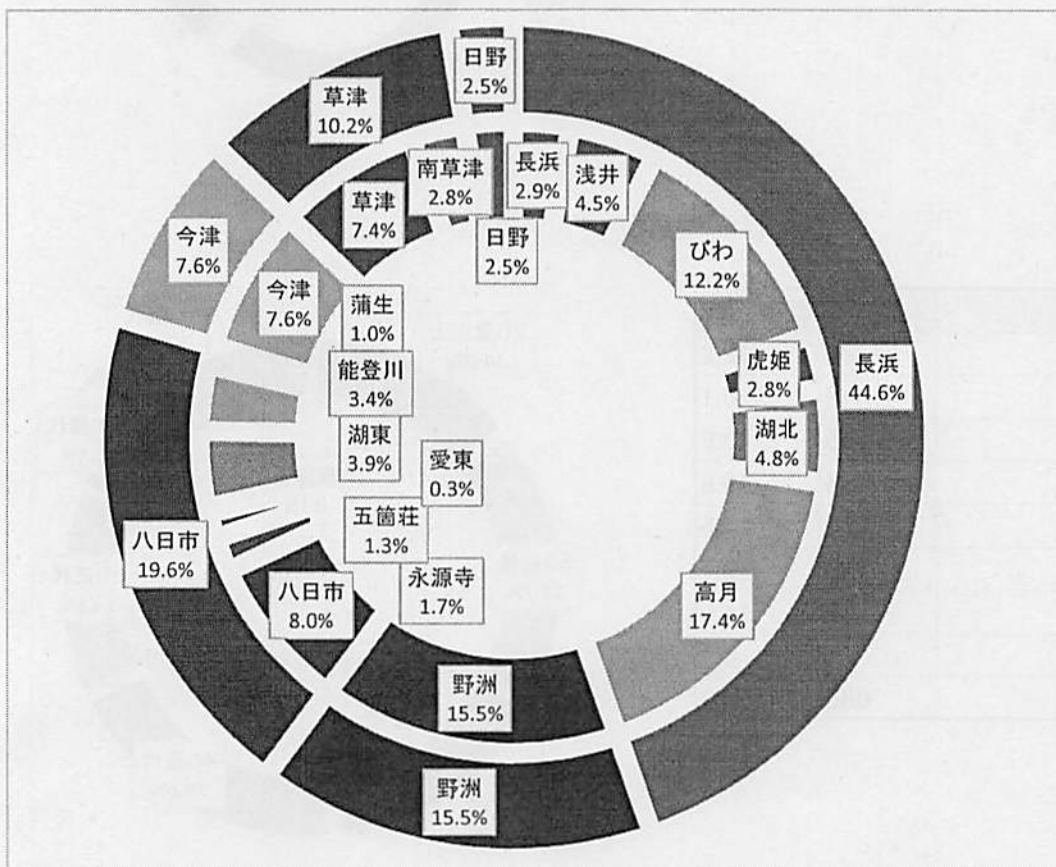
○ 年代

項目	人数(人)	割合(%)
10歳代	84	12.2
20歳代	42	6.1
30歳代	95	13.8
40歳代	134	19.6
50歳代	106	15.5
60歳代	128	18.7
70歳以上	96	14.0
無回答	1	0.1
合計	686	100.0



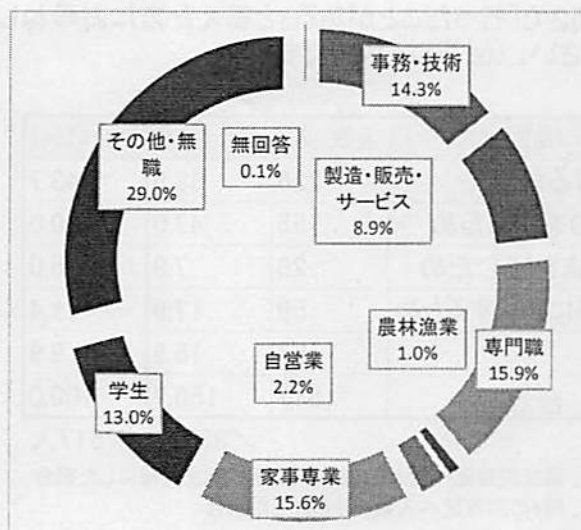
○ 回答館

項目		人数(人)	割合(%)	自治体(人)	割合(%)
長浜市	長浜図書館	20	2.9	306	44.6
	浅井図書館	31	4.5		
	びわ図書館	84	12.2		
	虎姫図書館	19	2.8		
	湖北図書館	33	4.8		
	高月図書館	119	17.4		
野洲図書館		106	15.5	106	15.5
東近江市	八日市図書館	55	8.0	135	19.6
	永源寺図書館	12	1.7		
	五箇荘図書館	9	1.3		
	愛東図書館	2	0.3		
	湖東図書館	27	3.9		
	能登川図書館	23	3.4		
	蒲生図書館	7	1.0		
高島市立今津図書館		52	7.6	52	7.6
草津市	草津図書館	51	7.4	70	10.2
	南草津図書館	19	2.8		
日野町立図書館		17	2.5	17	2.5
合計		686	100	686	100.0



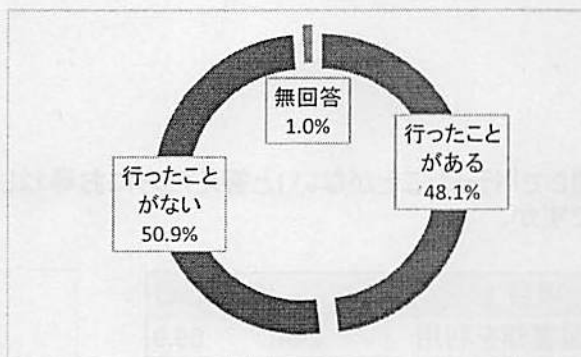
○ 職業

項目	人数(人)	割合(%)
事務・技術関係(自営業者除く)	98	14.3
製造・販売・サービス関係(自営業者除く)	61	8.9
専門職など(専門職・自由業)	109	15.9
農林漁業	7	1.0
自営業	15	2.2
家事専業	107	15.6
学生	89	13.0
その他・無職	199	29.0
無回答	1	0.1
合計	686	100.0



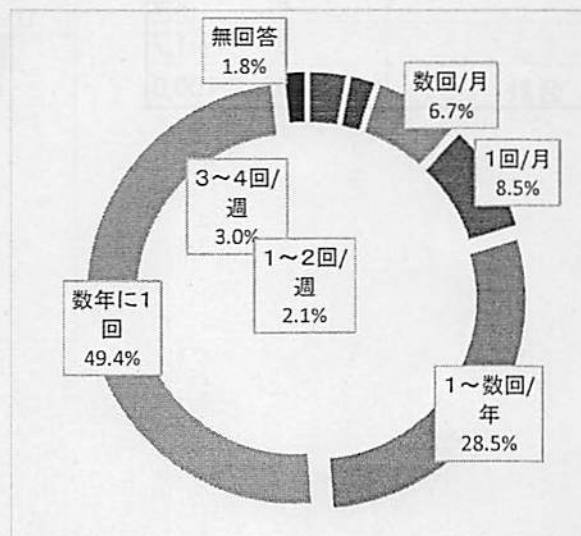
【問2】あなたは、県立図書館に行ったことがありますか。

項目	人数(人)	割合(%)
行ったことがある	330	48.1
行ったことがない	349	50.9
無回答	7	1.0
合計	686	100.0



【問3】問2で「行ったことがある」と答えた方にお尋ねします。あなたは県立図書館をどの程度利用されていますか？

項目	人数(人)	割合(%)
1週間に3～4回	10	3.0
1週間に1～2回	7	2.1
月に数回	22	6.7
月に1回くらい	28	8.5
年に1回～数回	94	28.5
数年に1回	163	49.4
無回答	6	1.8
合計	330	100.0



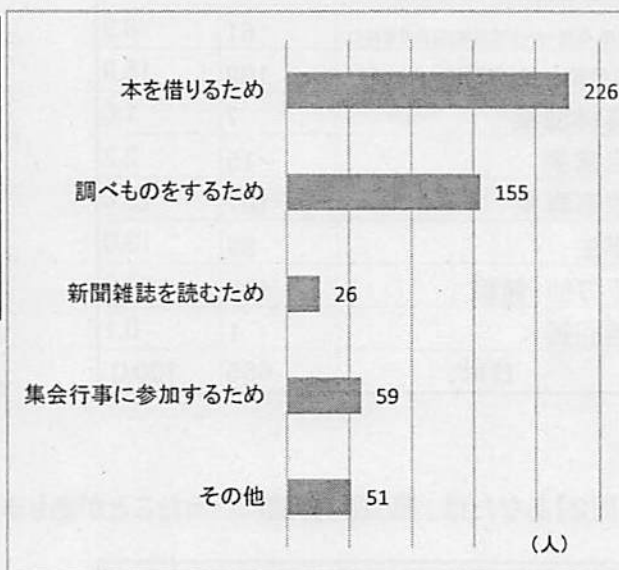
【問4】問2で「行ったことがある」と答えた方にお尋ねします。あなたが県立図書館を利用する目的を教えてください。(回答はいくつでも)

項目	人数(人)	割合1(%)	割合2(%)
本を借りるため	226	68.5	43.7
調べものをするため	155	47.0	30.0
新聞雑誌を読むため	26	7.9	5.0
集会行事に参加するため	59	17.9	11.4
その他	51	15.5	9.9
合計	517	156.7	100.0

／330人 ／517人

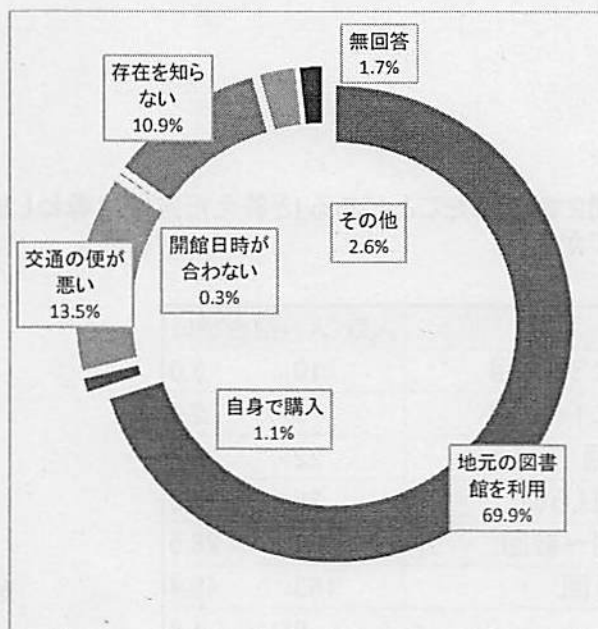
※割合1は、県立図書館へ行ったことがある実人数を分母にした割合

※割合2は、問4の回答延べ人数を分母にした割合



【問5】問2で「行ったことがない」と答えた方にお尋ねします。県立図書館に行かないのはどのような理由からですか。

項目	人数(人)	割合(%)
地元の図書館を利用	244	69.9
自身で購入	4	1.1
交通の便が悪い	47	13.5
開館日時が合わない	1	0.3
存在を知らない	38	10.9
その他	9	2.6
無回答	6	1.7
合計	349	100.0



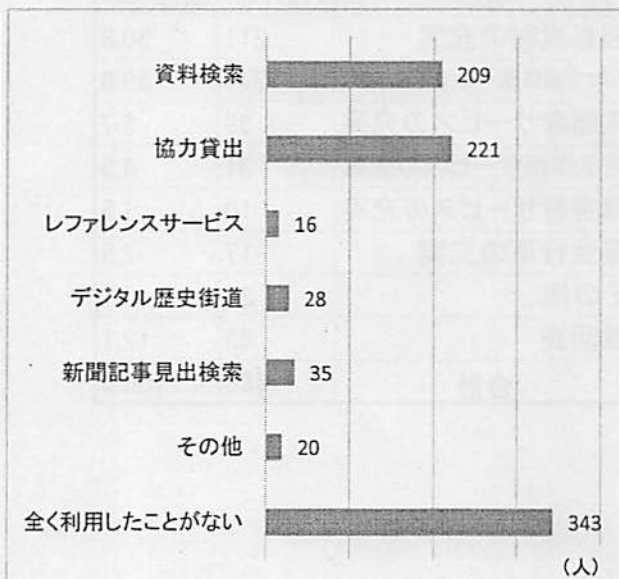
【問6】県立図書館が行っている直接来館できない方に向けたサービスの中で、あなたが利用したことがあるものを次の中から選んでください。(回答はいくつでも)

項目	人数(人)	割合1(%)	割合2(%)
ホームページの「資料検索」	209	30.5	24.0
協力貸出	221	32.2	25.3
レファレンスサービス	16	2.3	1.8
デジタル歴史街道	28	4.1	3.2
滋賀県関係新聞記事見出検索	35	5.1	4.0
その他	20	2.9	2.3
全く利用したことがない	343	50.0	39.4
合計	872	127.1	100.0

／686人 ／872人

※割合1は、アンケート回答者の実人数を分母にした割合

※割合2は、問6の回答延べ人数を分母にした割合



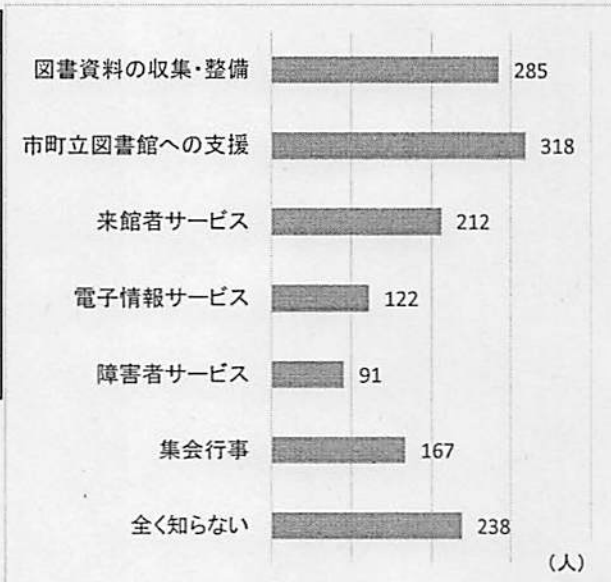
【問7】県立図書館が行っている事業の中で、あなたがご存知のものを教えてください。(回答はいくつでも)

項目	人数(人)	割合1(%)	割合2(%)
図書資料の収集・整備	285	41.5	19.9
市町立図書館への支援	318	46.4	22.1
来館者サービス	212	30.9	14.8
電子情報サービス	122	17.8	8.5
障害者サービス	91	13.3	6.4
集会行事	167	24.3	11.7
全く知らない	238	34.7	16.6
合計	1,433	208.9	100.0

／686人 ／1433人

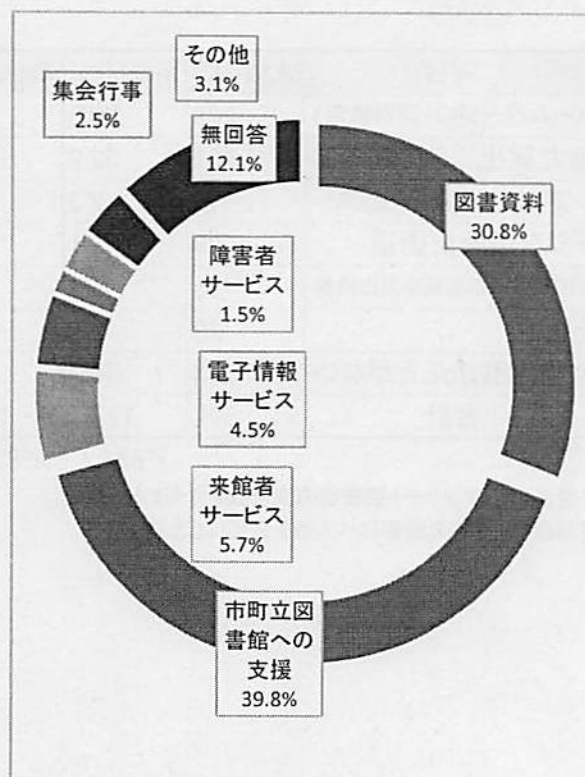
※割合1は、アンケート回答者の実人数を分母にした割合

※割合2は、問7の回答延べ人数を分母にした割合



【問8】県立図書館が行っている事業の中で、これから最も優先して進めていくべき事柄は何だと思いますか。

項目	人数(人)	割合(%)
図書資料の充実	211	30.8
市町立図書館への支援の充実	274	39.8
来館者サービスの充実	39	5.7
電子情報サービスの充実	31	4.5
障害者サービスの充実	10	1.5
集会行事の充実	17	2.5
その他	21	3.1
無回答	83	12.1
合計	686	100.0



「滋賀県立図書館」についてのアンケート結果

資料4

■ 調査時期：平成28年8月9日(火)

■ 調査目的：県立図書館の活動を充実・強化していくため、現在行っている業務やこれからの図書館の在り方などについてご意見を伺う

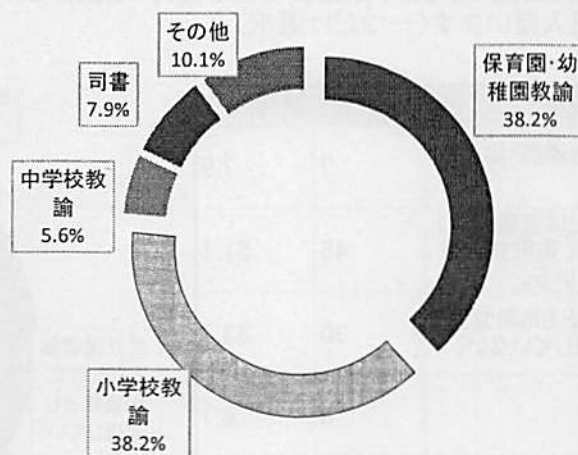
■ 対象者：子ども読書活動にかかわる教員、職員

■ 回答数：89人

※ 集計の方法により割合の合計が100.0%を超える場合があります。

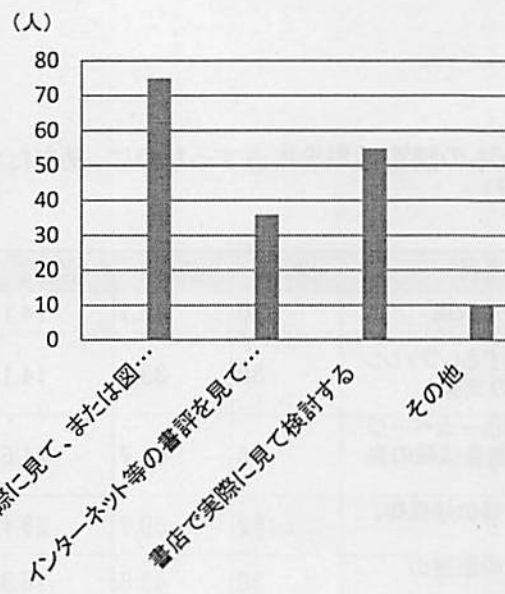
【問1】あなたの属性を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
保育園・幼稚園教諭	34	38.2
小学校教諭	34	38.2
中学校教諭	5	5.6
司書	7	7.9
その他	9	10.1
合計	89	100.0



【問2】あなたは、読み聞かせの本など仕事に関係する本を選ぶ際、何を利用されていますか。
(複数選択)

項目	人数(人)	割合1	割合2
図書館で実際に見て、または図書館職員と相談して検討する	75	84.3	42.6
インターネット等の書評を見て検討する	36	40.4	20.5
書店で実際に見て検討する	55	61.8	31.3
その他	10	11.2	5.7
合計	176	197.8	100.0

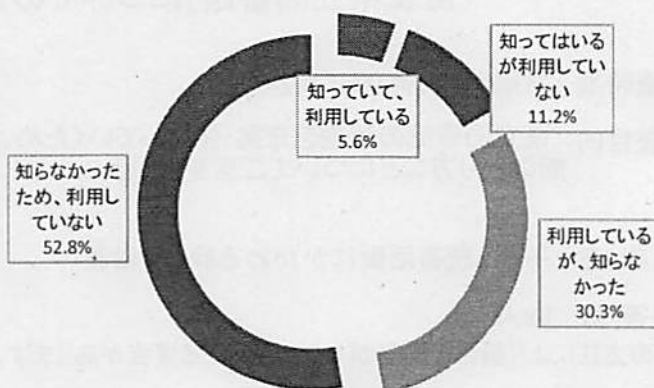


※割合1は、アンケート回答者の実人数を分母にした割合

※割合2は、アンケート回答の延べ人数を分母にした割合

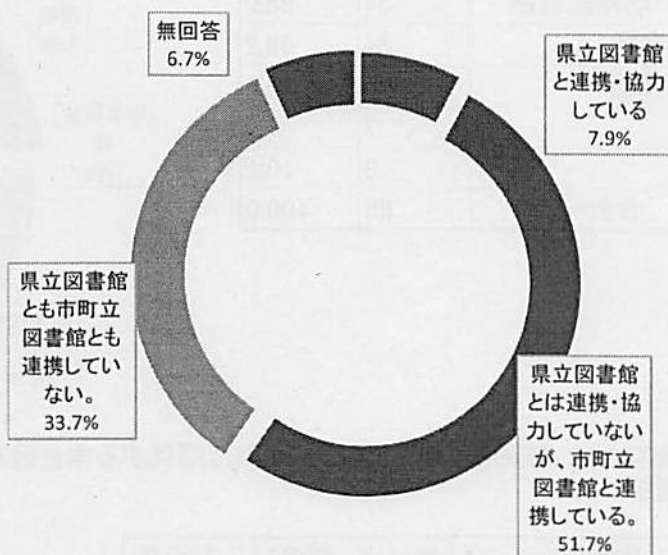
【問3】あなたは県立図書館が市販されている児童書を全て収集していることを御存じですか。(一つだけ選択可)

項目	人数(人)	割合(%)
知っていて、利用している	5	5.6
知ってはいるが、利用していない	10	11.2
利用しているが、知らなかった	27	30.3
知らなかったため、利用していない	47	52.8
合計	89	100.0



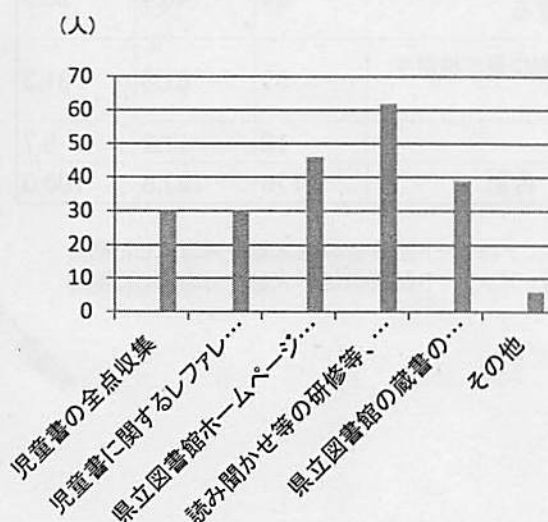
【問4】あなたの園・校では、県立図書館と協力・連携していますか。協力・連携している場合は具体的な内容を記入願います(一つだけ選択)

項目	人数(人)	割合(%)
県立図書館と連携・協力している	7	7.9
県立図書館とは連携・協力していないが、市町立図書館と連携している。	46	51.7
県立図書館とも市町立図書館とも連携していない。	30	33.7
無回答	6	6.7
合計	89	100.0



【問5】子どもの読書活動を推進するために、あなたが県立図書館に期待する役割は何ですか。(複数選択)

項目	人数(人)	割合1	割合2
児童書の全点収集	30	33.7	14.1
児童書に関するレファレンスサービスの充実	30	33.7	14.1
県立図書館ホームページにおける児童書情報の発信	46	51.7	21.6
読み聞かせ等の研修等、人材育成	62	69.7	29.1
県立図書館の蔵書の団体貸出し	39	43.8	18.3
その他	6	6.7	2.8
合計	213	239.3	100.0



※割合1は、アンケート回答者の実人数を分母にした割合
 ※割合2は、アンケート回答の延べ人数を分母にした割合

「滋賀県立図書館」についてのアンケート結果

- 調査時期 : 平成28年11月下旬から12月上旬
- 調査目的 : 県立図書館の活動を充実・強化していくため、現在行っている業務やこれからの図書館の在り方などについてご意見を伺う
- 対象者 : 小・中・高 学校図書館部会所属の教員、職員
- 回答数 : 90人

【問1】あなたは普段、公立図書館を利用していますか。

項目	小学校	中学校	高校
①県立図書館だけを利用	1	1	1
②市町立図書館だけを利用	24	13	14
③両方利用	7	3	9
④利用していない	5	9	3
合計	37	26	27

【問2】問1で①、③と答えた方にお尋ねします。あなたは、どのように県立図書館を利用していますか。
(複数選択)あなたは普段、公立図書館を利用していますか。

項目	小学校	中学校	高校
本を借りるため	8	3	10
調べ物をするため	8	2	10
新聞雑誌を読むため	1	1	2
その他	1	1	0
合計	18	7	22

【問3】問1で②、④と答えた方にお尋ねします。現在、県立図書館を利用していないのはどのような理由からですか。(一つだけ選択可)

項目	小学校	中学校	高校
地元の市町立図書館を利用しているため、県立図書館へ行く必要がない	11	5	9
必要な本は、自分で購入している	2	5	2
交通の便が悪く、利用しづらい	11	4	4
開館日や開館時間が合わないため、利用しづらい	5	7	0
県立図書館があることを知らなかった	0	0	0
その他	0	1	1
無回答	0	0	1
合計	29	22	17

【問4】県立図書館がおこなっている事業の中で、あなたがお存じのものを教えてください。(複数選択)

項目	小学校	中学校	高校
図書資料の収集・整備	26	21	19
県内市町立図書館への支援	29	15	20
来館者サービス	29	19	22
電子情報サービス	11	12	13
障害者に対するサービス	9	6	11
集会行事	21	16	15
合計	125	89	100

【問5】県立図書館がおこなっている事業の中で、これから最も優先して進めていくべき事柄は何だと思えますか。(一つだけ選択)

項目	小学校	中学校	高校
図書資料の充実	8	5	13
県内市町立図書館への支援の充実 (直接来館できない県民に向けたサービスの充実)	20	12	8
来館者サービスの充実(開館日の増加等)	2	5	2
電子情報サービスの充実	4	1	2
障害者に対するサービスの充実	0	0	0
お話し会や資料展示やライブラリーコンサート等、集会行事の充実	0	1	1
その他	1	1	0
無回答	2	1	1
合計	37	26	27